

# 鳥取青年会議所15周年記念誌





1974年度スローガン

摸索する英知・挑戦する勇氣・若さで担え日本の未来



## JCI Creed

We Believe :  
That faith in God gives meaning and  
purpose to human life;  
That the brotherhood of man transcends  
the sovereignty of nations;  
That the economic justice can best be won  
by free men through free enterprise;  
That government should be of laws  
rather than of men,  
That earth's great treasure lies in  
human personality;and  
That service to humanity is the best  
work of life

## J C 宣言

われわれは、  
理性と法による社会の秩序を確立し、  
個人の創意と公正な競争を通じて、  
経済の発展を実現し、  
隣人の幸せを願う者が正しく報われる  
民主主義社会の達成を誓い、  
民族の気概を結集して日本の平和と  
独立を守り、  
人間性への信頼こそ、すべての国を結ぶ  
きずなであることを確信する

## 綱 領

われわれ JAYCEE は  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い 力を合わせ  
青年としての  
英知と勇氣と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

## J C ソング

1. J C J C J C  
世界を結ぶ 若き団結  
新しき世紀の 希望となりて  
永遠に繁栄えん 我等の集い
2. J C J C J C  
奉仕の理想 探究めつつ  
祖国の進歩の 力となりて  
先駆けゆかん 我等の集い

## 若い我等

1. 若い我等が手を取り合って  
進む行手の青い空に  
輝く J C 明るい希望  
足なみをそろえて  
行こうじゃないか
2. 世界を結ぶ若さの力  
互に尽す楽しさこそ  
J C の理想だ新らしい日だ  
足なみをそろえて  
行こうじゃないか
3. 若い我等の心を集め  
つくる集いに未来をかけて  
J C の仲間は皆信じあう  
足なみをそろえて  
行こうじゃないか

## 明日のために

1. 若さと若さが 手を結び  
明日にいつも 向うのだ  
豊かな未来 めざしつつ  
日本の道を 創ろうよ  
行こう JAYCEE  
明日のために
2. 心と心を つなぎ合い  
大きな虹を かけるのだ  
生きてることの 喜びを  
すべての人に 投げかけて  
行こう JAYCEE  
明日のために
3. 命と命が 満ちあふれ  
光りとなって 燃えるのだ  
世界の窓に いつの日も  
希望の夢は はばたくよ  
行こう JAYCEE  
明日のために

## 目 次

|                              |                    |    |
|------------------------------|--------------------|----|
| ご挨拶 .....                    | 理事長 清水昭允 …         | 1  |
| ご挨拶 .....                    | 実行委員長 足立利喜雄 …      | 2  |
| ご挨拶 .....                    | 日本青年会議所会頭 前田完治 …   | 3  |
| 祝辞 .....                     | 中国地区協議会会長 坂口允彦 …   | 4  |
| 祝辞 .....                     | 山陰ブロック協議会会長 飯塚普彬 … | 5  |
| 祝辞 .....                     | 鳥取県知事 平林鴻三 …       | 6  |
| 祝辞 .....                     | 鳥取市長 金田裕夫 …        | 7  |
| 祝辞 .....                     | 鳥取商工会議所会頭 米原 稷 …   | 8  |
| J C の思い出 .....               | 初代理事長 金田文夫 …       | 9  |
| 1970年～1974年 鳥取青年会議所の歩み ..... |                    | 11 |
| 1970年度理事長 .....              | 玉木久夫 …             | 12 |
| 1971年度理事長 .....              | 池内勝信 …             | 22 |
| 1972年度理事長 .....              | 古寺善三 …             | 32 |
| 1973年度理事長 .....              | 涌本祐之 …             | 44 |
| 1974年度理事長 .....              | 清水昭允 …             | 54 |
| 15周年記念事業 .....               |                    | 58 |
| 鳥取青年会議所創立15周年記念式典組織図 .....   |                    | 59 |
| 鳥取青年会議所OB会員名簿 .....          |                    | 60 |
| 鳥取青年会議所会員名簿 .....            |                    | 61 |

## ごあいさつ



1974年度 理事長

清水 昭 允

鳥取青年会議所創立15周年を迎え、ここに記念誌を発刊するに当り一言御挨拶を申し上げます。

昭和34年鳥取の若き経済人47名で設立され、より明るい豊かな町づくりを目ざして発足されて以来、地域社会に密着した運動を展開しつつ早や15年を迎えるに至りました。

現在では創立当初の会員数の二倍の94名で構成され先輩諸兄も60余名の多数となりました。これ迄のOB諸兄15年の歩みと会員の活動を基礎とし、この記念すべき年を迎えることが出来たのも諸先輩、関係諸団体、会員各友の御指導と御協力の賜と深く感謝申し上げます。

昨秋のエネルギー資源問題から端を発し、諸物価の狂乱的高騰、高金利、高賃金に加えて政治不信等々全く混沌とした世相の中で私達JC会員はこの時期にこそ、その真価を発揮すべく、奉仕、友愛、修練の三信条を踏まえ原点に立ち返って変化に対応する能力を身につけ、地域に於ても企業内でも良きリーダーとして15年から20年に向って不可能を可能にし、すぐれた行動力、青年の特権である勇氣と情熱で夢を実現すべくこれに挑戦し、真のJC運動を愈々強力に展開できると思います。

日本JCも547LOM会員数4万弱と年々に増加し、国民からも期待を寄せられる団体となり、鳥取でも少年野球大会は第13回の最多継続事業を始め、施設合同運動会、サッ

カー教室、CD運動が水と緑のテーマのもとに袋川に鯉の放流、植樹と市民意識の高揚をはかり、社会開発も一步前進しこれ迄の一つの壁を破る努力の成果だと思えます。又献血運動も着実にその成績を高めております。更に組織も任意団体を法人化へと県に申請しており今年中には設立されるものと思えます。この外各方面より15年の実績から厚い信頼を得て、県市の行政機関の審議会、協議会にも多数代表者を送り、青年層の代表として又一市民として活躍を続けています。

青年のグループサークルとの交流も密になり、協同意識をもち研修に励み、事業にも取組み、友愛を育てながらその輪を拡大する努力をして次代の担い手たる青少年との活動を盛に行ない協調を一層厚いものとしなければならぬと思えます。

私達の求めるもの、或は求められるものは何かを思う時、他の団体又行政に於ても手がけていく様な問題にも素直に真正面から取組み一步先んじた行動が取れる力を持っていると思えます。隣人の幸せと、よりよい民主的社會を願い乍ら一步一步力強く前進して行く努力をしたいものと思えます。

終りに今日迄私達をよく理解して頂き厚い御支援御鞭撻と御温情にあづかりました各方面に深く感謝し、又平素格別の御助言御指導頂いております、各関係各位、スポンサーJCの米子青年会議所からの沢山の御祝辞や御激励の御言葉を頂き深く感謝いたします。

## ごあいさつ



創立15周年記念大会  
実行委員長  
**足立 利喜雄**

鳥取青年会議所が創立満15周年を迎え、記念誌の発刊にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

昭和34年認承状の伝達を受け設立されて以来、綱領のもとに組織の拡大に努め、自己の修練と社会への奉仕と友情をモットーとして歩んでまいりました。

本日こうして15年の誕生を迎える喜びは真に感銘深いものがあります。

これも偏に先輩各位が額に汗し、手を土にまみれさせて、地域社会に対して密着した活動とご指導のたまものと深く敬意を表する次第であります。さて昨今を取り巻く社会情勢は日一刻と目まぐるしく変化しております。

中近東戦争に端を発した世界的なエネルギー危機は、今や国際経済はもとより、我が国においては、産業構造の改革と、インフレ経済を余儀なくされている状況にあり、このことは国民生活への影響は大なるものがあります。

J C 運動は、このように激動する社会情勢と、多極化する価値感の中で「社会と人間の開発」を目標に、困難と立ち向い、若者らしい行動力と、理想に燃え失敗を恐れず、使命感をもち、新しい地域社会創造のために邁進しなければならないと考えております。それがゆえに私達に対する地域社会からの期待も大なるものがあると云えましょう。

したがって15周年の時に当り、過去の歩みを回顧し、改めて「社会と人間の開発」とはど

のようなものか、具体的、且つ真剣に考えなければならぬと思います。

このような意味から、本大会は、先輩各位の参加を得て、ごく内輪での大会としましたが、スライドによる、あゆみの回顧と、我々が着手してまいりました社会開発計画の実践として、住民意識の高い「眠れる袋川の再開発」に焦点を定めました。

この運動のテーマを「水と緑」と定め、住民のより多くの関心と協力を期待し、緑の街を願い、ツツジの植樹と、一つには清流とならしむるべく望をかけ、一万匹の錦鯉の放流を行いました。

これは長期的な展望に立ち、自然回復への挑戦なのです。

私達の街は私達の手でと全体に呼びかけ、より多くの住民参加による運動展開にしなければなりません。

そのリーダーとして今こそ青年会議所の真価を問われる時が来たのです。

メンバー諸兄の英知と勇気と情熱をもって、相互の連帯感をなお一層深めながら、平和と明日のより繁栄のために行動に立ち上ることを希望いたします。

終りに当り、本日までご援助、ご鞭撻いただきました関係各位、諸団体の皆さんに対し衷心より感謝の意を表して、ご挨拶にかえさせていただきます。



## ごあいさつ

社団法人  
日本青年会議所 会 頭 前 田 完 治

鳥取青年会議所創立15周年、心よりお祝い申し上げます。

日本における青年会議所運動は、常に困難に挑戦する若者らしい行動力と、理想に燃え失敗を恐れない使命感とに支えられながら、24年間の歴史的成果を収めて、いまや全国547 LOM、4万人の会員を擁し、社会的・国家的責任を自から問う団体に発展してきました。

もとより青年会議所運動は、自から住む地域社会の開発を通して、自からの指導力を養うのが目的であります、同時に国家的、国際的に果さねばならぬ若者らしい行動力と正義感養成も忘れてはならない使命の一つであります。

現代は変革の70年代と呼ばれ、非常に起伏に富んだ社会現象を見せております。

そしてこれらの変化は、過去の事実の積み重ねで類推されうるようなものではなく、誰れもが切り札を持っていない、まさに1億国民が模索をしている状態であり、今こそ経営者として、社会人として、人間の幸福、生活の真実を求めて進むために発想の転換をはかり、新しい価値観を求める必要があります。

鳥取青年会議所創立15周年にあたり、これからの青年会議所運動の方向を考え、地域社会と国家そして世界、LOMとNOMそしてJCIとの関係を総合的立場から研究を重ね、いま地域社会が、そして国家が、青年会議所にそして青

年に求めているものに若者らしく勇気と情熱をもって応えていくことこそ、われわれの使命であることを強く訴えたいと思います。

成果は小さくても良い。着実に、一つ一つ具体的に実践をしていくなかで、この多様化した現代社会の矛盾を発見し、それを解決していくことによって社会の信頼を得ることこそが、今後の青年会議所運動の基本であります。

鳥取青年会議所会員諸兄がこの運動を展開していかれるなかで、もしも困難な問題に当面された時、全国547LOMで4万人の同志が、そして全世界で48万人のJAYCEEがお互いに努力し、心を一つにして頑張っていることを信じて欲しいのであります。

最後に、鳥取青年会議所のご発展をお祈り申し上げ、会員諸兄が市民の皆さんと一緒に明日の鳥取の為、日本の為、全世界、人類の為に青年会議所運動を展開して下さいよう期待してお祝いの言葉といたします。





## 祝 辞

(社) 日本青年会議所

中国地区協議会 会長 坂口 允彦

鳥取青年会議所が、創立15周年を迎えられるにあたり、心からのお慶びを申し上げます。昭和34年、全国で156番目の青年会議所として認承を受けられてより、今日に至る道、「社会と人間の開発」を合言葉に豊かな郷土建設を目指して地道な運動を続けられ、特に青少年問題に関しては、少年野球大会の主催、施設児童合同運動会等と素晴らしい実績を挙げられ、郷土発展を支える大きな柱の一つになっている事は、まさに、その時、その日、との歴史の中に参画し、15年の歴史を動かして来た先輩の皆様の尊く、偉大な足跡と、現会員諸兄の一丸となった御努力の賜と、中国地区会員3千余名を代表して心からの敬意を表する次第であります。

扱て、1974年の日本は、正に地殻変動とでも云うべき大きな変革の嵐の真只中に立たされてしまいました。今や社会は、福祉を阻害するインフレ、資源問題、公害等によって大きくその前途を立ちはだかられるに至ったのであります。そして又、私達が目指した豊かな社会、それは高度工業技術社会から情報化社会そして脱工業化社会へ云い古された言葉ながら自由世界で米国に次ぐ第2位の経済大国となった日本は、豊かな社会へのゆるぎない地位を固めたかに見えたのであります。昨年来、襲いかかった石油危機によって、決定的に悟らされたのは、日本の豊かさ

と見たものの底の浅さであり、又日本人自身の本質的な問題であったのであります。青年会議所が、明日を目指し、明日を開かねばならぬ若者の集団であるならば、今、まさに世が問う真の豊かさと云う大きな命題について、何をなすべきか、はっきりとした道を求める努力をしなければならぬと思います。そして、その道に向かって、真摯で、地道な行動を行っていかねばならぬと考えるのであります。

私は、本年「今日ある動機を考え、明日の先見を開発しよう」と提言致しました。

この意義ある15周年と云う節にあたって、JCに参加した際の会員諸兄の心情を確認して頂きたいと思えます。そして、昨今の混沌とした世相にあたって、今こそ、焦土の中から立ち上った創始の精神を、その心として、全会員の胸に焼き付け、よりよき郷土発展の為の起爆力となって頂きたいと思うのであります。そして、鳥取青年会議所15年の尊く、素晴らしい蓄積を大切にしながら、同時に、新しい時代、変革の時代に対する厳しい認識と、それに処する責務を全うして、次なる5年、10年に向かって決意を新たにされ、郷土、鳥取の繁栄と発展に、積極的な活動を起こされん事を切望し、お祝いの言葉に代えさせて頂きます。



## 祝 辞

山陰ブロック協議会 会長 飯塚 普 彬

鳥取青年会議所創立15周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。この間先輩諸氏のたゆまざる努力とその年輪の積み重ねにより、今日会員メンバーの団結と青年会議所運動の基礎をいよいよ強固にし、地域社会に着実に定着してまいられたことはさらに一層の前進をすべき責任と使命があると存じます。この15年の歴史の上に安住する事は決して許されません。それは過ぎた15年が今後迎える15年と同じではなく、その変革は速度と多様性において想像しがたく、また計り知れないものを考えるからであります。私は15年と云う節は謙虚な反省とその歴史的過程を認識することから、将来を展望すると共に歴史を乗り越えてさらに飛躍すべき新しい価値と新しい伝統を次なるゼネレーションに引き継ぐ時期と考えます。我々は「明るい豊かな社会」の創造を標榜し続け青年としての英知と勇気と情熱を傾けていますが本当に「明るい豊かな社会」とはどんな社会でありましょうか、我々が求めていた社会は今我々が住み存在している社会、それが目指したものであったのでしょうか。たしかにすばらしい日本の経済の発展は驚異的でありました。そして我々日本人は物量の豊富さで生活の幸福をはかる習慣が身につきました。しかし他方今その成長のあまり日本人の心の豊かさ、明るさは疎外され人間性が埋没したこともゆるがせのない事実だと思えます。この時こそ我々

は使命を認識し、自覚すると云うことだけではなく主張し行動し、その積み重ねによって新しい時代を創り出さなくてはなりません。希望を持たなければ失望することはありません。試みなければ失敗することもないのです。現実の社会の実態を正確に身をもって認識しなくてはなりません。そのためには本当に私達が一人の市民として市民の中に入り込み溶け込まねばなりません。そして現実の実態を把握し、共に考え、共に行動することが大切であります。

青年会議所運動の中にあつてトレーニングした力、開発された指導力を内に秘め多くの市民と一体となって行動しなくてはなりません。決して一人よがりのリーダーシップでなく、青年会議所運動の本質はより多くの市民とよりコミュニティーの豊かさを求めるものでなくてはならないはずで、その時に青年会議所運動が幻想でなく理想を求める運動として地域の内に真に理解されなくてはならない団体として存在するものであると確信致します。

15年は元服であります。いよいよ鳥取青年会議所がその輝かしい未来に向けて出発されることを心からご期待申し上げます。

どうか15年続いた松明の灯を永久にこの鳥取の地を真に誇り得る郷土として照すかがり灯に点ぜられ、無限の旅立ちの基点として認識されることを祈る次第であります。



## 祝 辞

鳥取県知事 平 林 鴻 三

鳥取青年会議所が、ここにめでたく創立15周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

鳥取青年会議所は、昭和34年1月中国地方で15番目の青年会議所として創立され、今日を迎えられたのでありますが、この間会員各位におかれましては、若き情熱と燃えるが如き郷土愛をもって地域社会の発展に大きく寄与されましたことは、過去15年間の輝かしい業績が実証しておるところであり、県民ひとしく感銘いたしておるところであります。

思えば、青年会議所は、敗戦による精神的又物質的に荒廃した日本を再建し、住みよい社会とするために立ち上った青年の力が一つの組織として結集されたものでありますが、その掲げられた理想即ち「社会への奉仕」「個人的修練」「世界との友情」は今日まで会員各位の信条として全国の青年会議所をして今日の隆昌に導いておるところでありまして深く敬意を表するものであります。

鳥取青年会議所が、この立派な信条のもとに全国組織の一員として発足されて以来、次代を背負って立つ有為な青年諸氏が共通の理念の実現を目途として日々修練をつまね鋭意研さん努力をされている姿を拝見いたしまして誠に意を強くするものであり、その成果は大きく社会の発展、文化の向上に期して俟つものがあることを確信するものであ

ります。

ご承知のとおり、昨今の経済情勢は国際的には二度に亘るドルショック、資源問題、発展途上国の追い上げ等の問題、又国内的には、環境問題、産業構造の知識集約化への対応の要請加えて金融引締などかつてない厳しいものがあります。

とりわけ、中小企業の多い本県経済界にとりましてはその影響も又大きいことが予想されます。

従いまして、これに対処するためには、経験豊富な先輩諸氏の力に俟つところ勿論であります。何と申しましても覇気と春秋に富んだ有能な会員の手腕と努力に期待するところ甚だ大きいと申さなければなりません。

会員各位におかれましては、現今の厳しい経済環境を直視され清水理事長の下に一致協力され崇高な理想実現のため一層研さん努力され明るく豊かにして住みよい社会の建設に邁進され広く国際社会へ貢献されますとともに鳥取青年会議所の一層のご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



## 祝 辞

鳥取市長 金田 裕 夫

鳥取青年会議所が、創立以来愈々御発展になり、此度目出度く創立15周年をお迎えになりましたこと、会員各位の嬉びさぞかしと、心からお祝い申し上げます。

鳥取青年会議所は昭和34年に、若い力を結集し同志相図られ、明るく豊かな社会実現のために設立されて以来今日まで、まことに積極的な歩みをお続けになり、数々の行績をお挙げになり、今や会員の組織力と連帯性等大きな社会勢力といっても過言でなく、今日の御発展に対し心から敬意を表しますとともに御同慶にたえません。

鳥取青年会議所主催の少年野球大会、福祉の諸施設合同運動会等、年々盛大に継続して実施して頂いておりますし、子供の国に「泉」の設置、旧袋川をきれいにする運動等、有意義な企てを実施され、市政としても御協力を賜わり厚く御礼を申し上げます。

当市は鳥取県の県都であります、人口12万人弱の山陰の城下町の小都市であり、久松山、湖山池、千代川等、美しい自然に恵まれた「まち」ではあるが、尚一層魅力のある活力のある、たくましく発展を続ける「まち」でありたい。その実現の担い手は誰れであるか、勿論鳥取市民以外の何者でもないが、推進力となるのは若い実践力のある青年でなくてはならない。当市百年の将来のために、青年会議所の若い皆様からもっと積極的な、勇気のある、創造性

豊かな具体的な提言を期待したい。

現在鳥取市は県東部の中核都市としての基盤の飛躍的な整備に努力している。即ち山陰新幹線の早期実現、智上線の早期開通、バイパス等国道の整備、戸倉トンネルの再改築、又大鳥取港の築造等、陸海の交通体制の整備を進めるとともに、多年の懸案である鳥取駅の高架、駅前の都市改造、港の背後地の区画整理等都市の再開発にも努力し、大型プロジェクトに取り組んでおるが、前述の美しい自然との調和を図りつつ、皆様とともにより積極的に推進し、これらを基盤として近代的な魅力のある住みよい「まち」の実現に総力を挙げて努力したい。

御承知のように、最近の経済情勢は昨年暮の石油危機は漸く乗り切ったものの、輸入価格の高騰に伴うコストインフレ等、楽観を許さず、先行きびしいものがあると存じます。

会員各位におかれても、現下の困難な情勢に対処され、一層の研鑽をつまれ、また企業体質の改善にも努力され、理事長のもと一致団結されまして、「青年としての英智と、勇気と、情熱をもって、明るく豊かな社会を築くよう、(青年会議所綱領)と、努力して頂きますことをお願いいたしますとともに、会員各位の御多幸と、鳥取青年会議所の末長く御発展になりますことをお祈りいたしましてお祝の御挨拶とします。



# 祝 辞

鳥取商工会議所 会 頭 米 原 穰

鳥取青年会議所が本年記念すべき創立15周年を迎えられましたことを心から祝福申し上げたいと存じます。

青年会議所の会員資格には、40才未満という年齢制限があるわけですが、それにしても鳥取青年会議所が創立された頃会員の中でも年長であられた大正期ご出生の方々は今日では50才を超える年輩になられ、当市商工業界の中堅として、当市多数の市民から大きな期待をかけられています。

わが鳥取商工会議所におきましても鳥取青年会議所の会員又はOBの何人かが会員、議員となられ、現常任議員にも2名のOB会員が就任されており、今後改選毎に青年会議所出身の方々が議員、役員として激増するものと待望しております。

さらに当然のことではありますが、毎年青年会議所の新役員が決定になりますとわが商工会議所の会頭並に専務理事との懇談の機会を設けて頂き、青年会議所新役員方の新しい抱負をお聞かせ頂くと共に商工会議所としての新年度事業等についても紹介させてもらっている次第です。私は今年の集会の折にも申しました通り、同じ建物の中に事務所もあるわけでもあるし、今後はもっと頻繁に連絡してもよいのではあるまいかと存じます。

青年会議所が15周年をお迎えになったこの年、197

4年（昭和49年）は、わが経済界は誠に異常な、乱況の年でもあり、新しい転機を求める国民の声しきりとも思われます。そして今日全国民の半数以上の年輩の方々をバックとされるJCの活動は、日本の未来を占う指針とさえ思われます。

15周年の記念すべき年を迎えられ、いよいよ発展を図られて当地域各方面の開発、発展に対しても一層の寄与をなされますよう切望して、お祝いのごあいさつといたします。



## J・Cの思い出

鳥取青年会議所 初代理事長 **金田 文夫**  
(日本J・C定款作成委員)

15年前、創立の当時を思い起して感慨無量のものがありますが、J・Cこそ私にとって愛する心のふるさとであり、若き日のリーダーシップのトレーニングの場であり、私の人間形成の上でも大きなよき影響を与えられ、またかけがいのない人間的資産も与えられたことをしみじみとありがたく痛感して居ります。鳥取J・Cは昭和34年戦後の復興が漸く緒についた頃、日本J・Cが昭和24年に発足して10年目に156番目のJ・Cとして発足したのでありますが当時創立会員は、若き鳥取の青年将校、四十七士となぞえられ、ヤングパワーとして大いに期待された思い出もあります。

当時、会の運営の方針として先ず初年度は会員の親睦を図ることを重点とし、今一つは社会奉仕に眼を向ける、この二つを運営の柱としました。云うまでもなくJ・Cは、日本J・C更に国際J・Cと国際的なつながりのある組織体ですからそのチャーターナイトは最も重大な行事ですが、これに裏千家の千宗匠、岡山の池田隆政、厚子ご夫妻を来賓として迎えたことも、また若き日の石破前知事、今は亡き米原章三翁から来賓として印象的なスピーチをいただいたことも深い思い出となって居ります。

会の運営で、例会日を定日制でなく、曜日制にして第3水曜日と定め、しかも昼食時を例会時間としたことは、全

国でも東京に次ぐ二番目で今なおこの伝統が守られていてよいことだったと喜んで居ります。しかも、昭和34年、35年と二期の理事長をつとめ更に36年には中国地区副会長をつとめさせていただき、その間35年には理事長をかねて中国ブロックを代表して日本J・Cの定款作成委員の一員となり、現在のJ・C綱領を作成したことはまことに恵まれたJ・Cへの足跡であったとはばかりながら自負しております。

ただ、J・Cは修練なり、友愛なり、奉仕なりの三信条のもとに集う若き良識ある青年同志の集団ではありますが決してそのJ・Cの名の上に安易にあぐらをかいているというようなことのないようにぐまた独善になってはならないと思います。若さの可能性を自信と勇気をもって発揮してもらいたいと思います。

最後に、私の愛するJ・C鳥取J・Cの輝く15周年を祝しさらに限りなく大きく前進することと、敬愛する会員諸兄のご多幸、ご健勝を心からお祈りして……。



1970年



1974年

鳥取青年会議所  
の歩み

|       |      |     |
|-------|------|-----|
| 1970年 | 玉木久夫 | 理事長 |
| 1971年 | 池内勝信 | 理事長 |
| 1972年 | 古寺善三 | 理事長 |
| 1973年 | 涌本祐之 | 理事長 |
| 1974年 | 清水昭允 | 理事長 |



## 1970年度



理事長  
玉木久夫

### 1970年度 鳥取青年会議所役員

|            |       |
|------------|-------|
| 理事長        | 玉木 久夫 |
| 直前理事長      | 中尾 喬一 |
| 副理事長       | 足立利喜雄 |
| 〃          | 河田 博志 |
| 〃          | 涌本 祐之 |
| 総務委員長      | 古寺 善三 |
| 総務副委員長     | 中山 隆義 |
| 広報委員長      | 尾崎 良一 |
| 広報副委員長     | 永井 伸和 |
| 都市問題委員長    | 米沢 安民 |
| 都市問題副委員長   | 金田勝太郎 |
| 経済活動委員長    | 本田 博  |
| 経済活動副委員長   | 清水 昭允 |
| 社会福祉委員長    | 平野 之致 |
| 社会福祉副委員長   | 岡垣 彰  |
| 青少年問題委員長   | 浜崎 貢三 |
| 青少年問題副委員長  | 縫谷 昌生 |
| 指導力開発委員長   | 山根 常愛 |
| 指導力開発副委員長  | 小島 英二 |
| 会員委員長      | 山家 哲彦 |
| 会員副委員長     | 佐野 幸男 |
| 日本JC 会頭    | 米原 正博 |
| 日本JC 出向委員  | 池内 勝信 |
| 〃          | 浜崎 泰三 |
| 〃          | 涌本 祐之 |
| 山陰ブロック出向委員 | 福田 義信 |
| 監 事        | 川島 久  |
| 〃          | 小谷 信行 |
| 〃          | 前川 清治 |

## 「人間復興」を基盤とした 四つの重点方針

社会開発計画推進  
教育問題  
経営者意識刷新  
米原会頭支援

## 「袋川に想う」

1970年理事長

玉木久夫

私が理事長の職を担当したのは、『激動の1970年代、幕明けの年』という事で、大きく宣伝された昭和45年度で、今、振り返ってみても、確かに国際的にも、国内的にも、政治、経済、社会あらゆる面で大きな屈折点をなす年であった様に思います。

鳥取JCに於いても、その前年に創立10周年記念を終え、20数名の若人を新入会員として迎えて、総数80名を越える大世帯になりました。従って、会員相互のコミュニケーションを十分に計る必要性と、JC運動そのものに新しい意義と方向づけをしなければならない時期であったと云えます。

その様な観点から、私は数年前から既に手がけられていた『社会開発計画』の展開こそJ C運動の中心を成す事業であることを明確にし、努力したつもりです。

この事業は、我々J Cの会員が、その組織の枠からとび出して、先ず一市民としての立場にかえり、科学的な手法によって住民のニーズを探ると共に市民運動を通じて問題解決を計り、それによって社会連帯感にあふれたコミュニティを作り上げることをねらいとしたものであります。幸い、鳥取J C 10周年を記念して、市民の意識調査を集計した『ひらけゆく鳥取』という報告書が出来上っており、これの分析を進めて、先ず「袋川の美化推進」を取り上げることと致しました。そして袋川の現地調査、袋川の素顔写真展、行政当局との懇談会等を重ね、更にこの運動は、次年度池内理事長にも引き継がれて、市長はじめ報道関係者による袋川の川下り、更には「鳥取市を美しくする会」の結成へと発展して参りました。その後においても、改修、増水工事の進展、各種団体による清掃運動等が、序々にではありますが進み、市民のあいだに袋川を中心として『おらが街』意識が広がって来ていることを見聞して、ささやかながら起爆剤の役目を果し得た事を大変心嬉しく感じていたところではありますが、此の度はからずも鳥取J C 創立15周年の記念事業として袋川に鯉を放流する計画がなされている事を聞き、今から5年前「袋川の素顔写真展」でとりあげられたゴミと悪臭に満ちたあの川が、よくもそこまでよみがえったものだという感慨にふけると共に、青年会議所運動の根本精神は時代が変わり、人がかわっても脈々として引き継がれ、力強く発展して行くものである事をまのあたりに見る感を深めている次第であります。

最後に、鳥取J C 15周年を心からお祝い申し上げ、永遠に栄光あらん事を祈ります。

## 人間性の回復を目指し 主体的活動と参加意識の高揚を！

70年代に於て人間性の回復とその条件の一つである社会資本の充実が重要な問題となっている。この事は多様化時代の最も近代的組織機能をもつJC活動領域の拡大を意味し、長期5ヶ年計画で示された600JC、5万人なる目標をはるかに突破していこう。人間性回復の思想を基調に人間をすべての原点とする社会開発計画の推進が希求される所以である。そこで鳥取JCはJCそれ自体の本質的特色を明確に認識し、組織を再検討し、参加し集まる事の意義と力を知り、地域社会への働きかけ発言力を強化してほしい。最後に現会員、研修会員の区別なく常に組織の主体者としての自覚を新に、JCマンとしての自負と責任を持って行動してほしい。



# 袋川美化推進

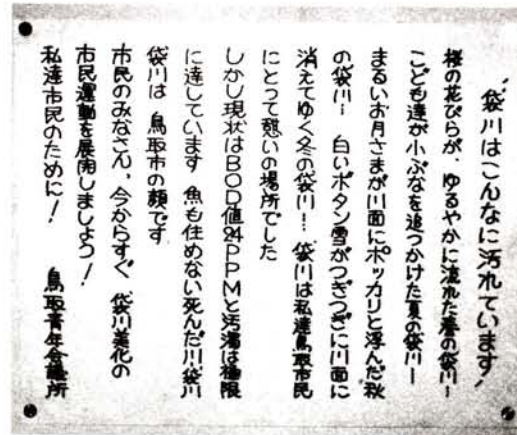
資料(1) 袋川の水質(43年2月26日調査)

外 観 白濁・浮遊物多数  
透視度 8  
C O D 7.47 PPM  
B O D 25 PPM  
細 菌 54,000個  
大腸菌 1,700

資料(2) 汚濁の原因

- A. 水量不足
  - ① 新袋川との水量調整(産業用水との関連)
  - ② 千代川との水位レベル差少ない
- B. 排水処理の不備
  - ① 都市下水の直接流入
  - ② 下水浄化装置の不備
- C. ゴミ不法投棄
  - ① 不法投棄の規制なし
- D. 行政能力の欠如
  - ① 行政機関の相互連絡不徹底
  - ② 衛生関係—鳥取市・保健所 河川管理—鳥取県・建設省
  - ③ 治水重点の河川管理の欠陥(治水から利水への河川管理)
- E. 一般市民の美化への意識欠如

袋川美化推進に於いては県衛生研究所に袋川汚濁調査を求めた。魚の住めるのは5 P P Mまでという事だが、旧袋川は智頭橋辺りで24 P P Mと最高を示し全然住めない状態である。その原因として、水量不足、排水処理の不備、ゴミの不法投棄等があげられる。そこで総務室は袋川美化推進の一環として「袋川はこんなに汚れています」と題した写真展を開催した。204点の応募作品の中から75点を選び、鳥取大丸を会場として展示した。魚もみえない死んだ川、袋川の生々しい姿をみせつけられた人々の口から一日も早く対策を立てなければと鳥取市の顔ともいえる袋川の汚れにおどろ



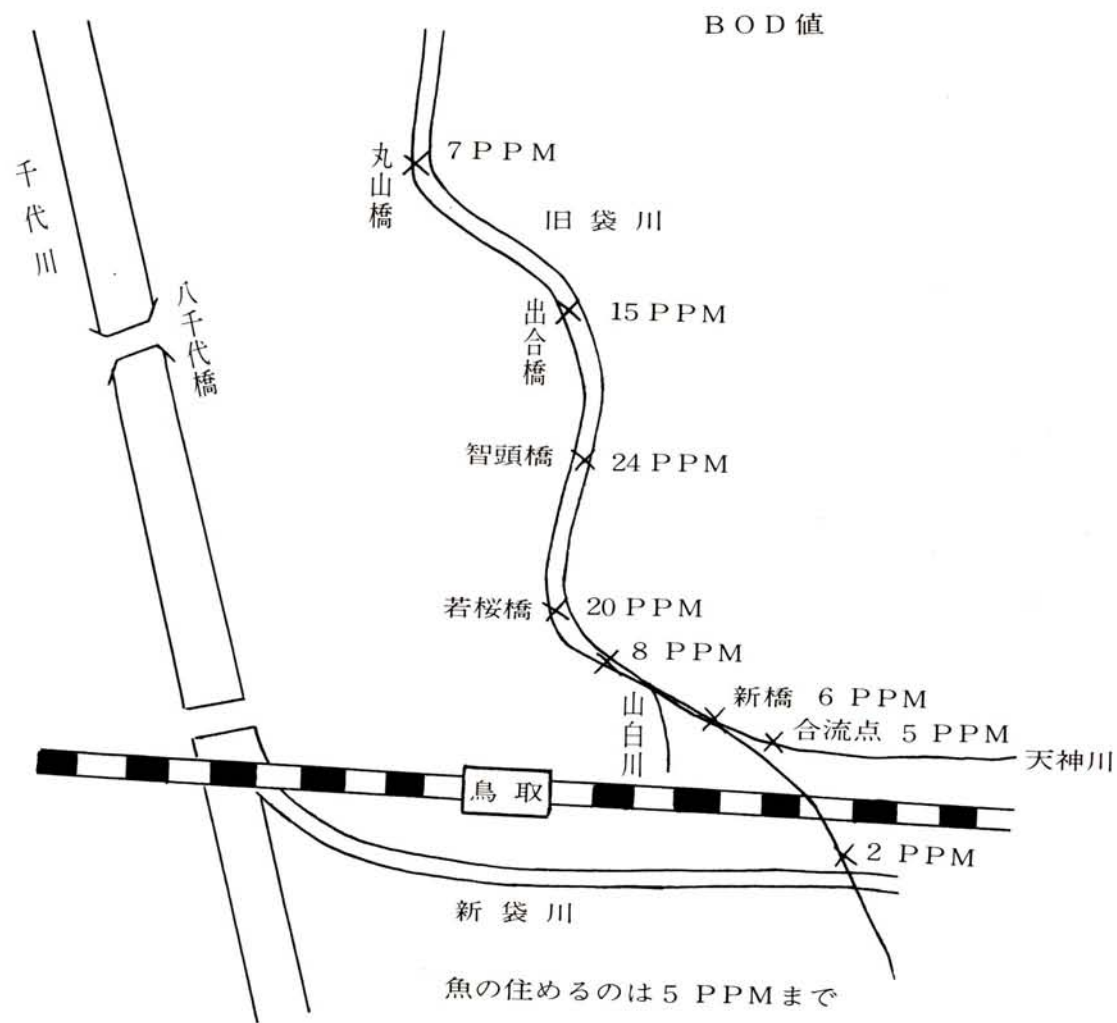
いていた。鳥取JCはこの写真展を第一歩として袋川美化市民運動の展開に努力を重ねていく。

なおこの写真展は10月13日から18日まで6日間開かれた。

## 広報の眼

### 袋川汚濁の現状と対策

資料(1) 袋川汚濁調査 鳥取県衛生研究所  
(45年6月)



## 第1回サッカー教室



### 日本サッカーチーム監督 長沼健氏来鳥！

4月26日メキシコオリンピック日本サッカーチーム監督長沼健氏を招いて、小中学生対象のサッカー教室を開いた。鳥取JCは10年の歴史を持つ「鳥取市少年野球大会」等、青少年の健全な心身の育成に努力してきたが、この程山陰地方に比較的なじみのうすいサッカーのレベルアップをはかるべく、長沼氏をコーチに招へいした。当日約300人の小中学生、鳥取大学のサッカー部員も加わり、基本プレーの解説、今までコーチにめぐまれなかった鳥取地方のサッカー少年にとって有益な助言、コーチがあり好評を博した。

鳥取JCは今後も要望に応え、春秋2回の開催と将来は「鳥取市少年サッカー大会」にまで発展させようと努力することになった。

## 救急医療体制



### 救急医療体制の充実と 確立に取り組む

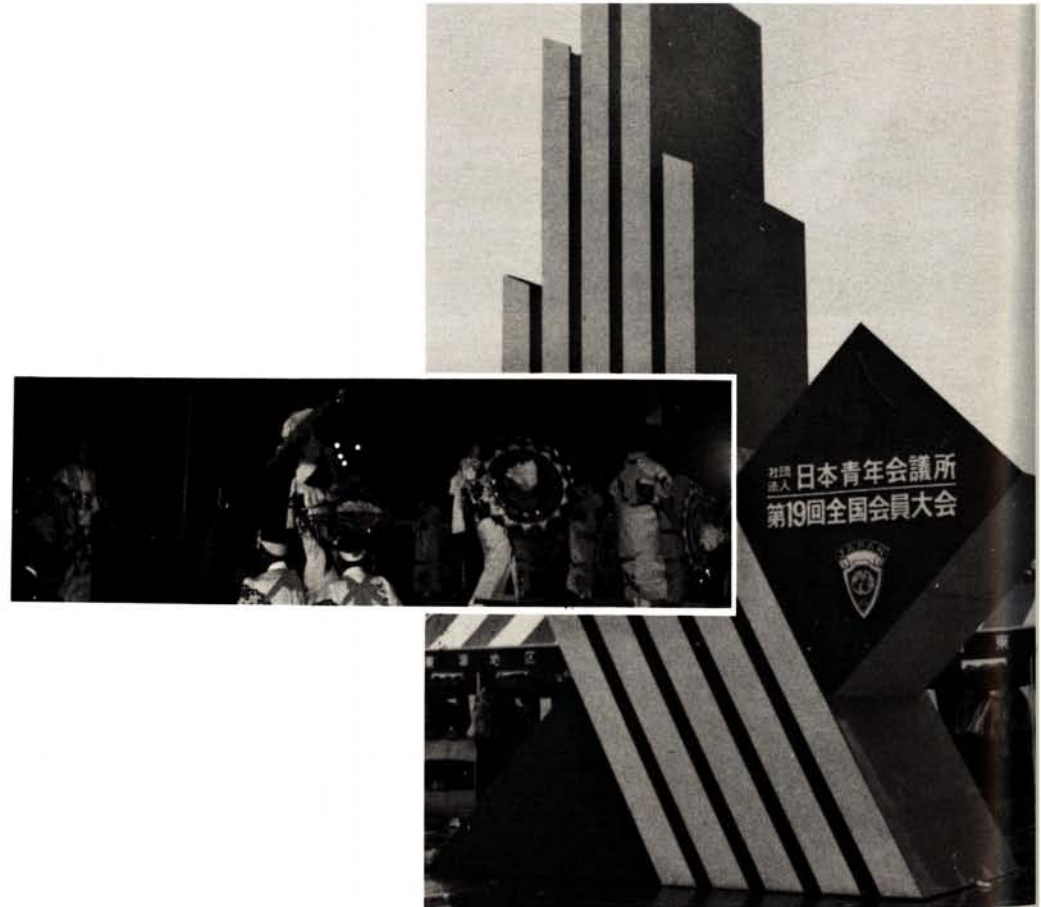
社会福祉委員会は今年の重点活動に「救急医療体制を取り上げ検討した。鳥取市の救急医療体制の整備、拡充が市民の意識調査で高く望まれていたため、4月3日、鳥取JCの呼びかけで鳥取県、警察、消防、医師会等17名の関係者と玉木理事長、平野社福委員長等約30人のJC会員が集り話し合った。その結果、日曜祭日の救急体制、各機関の総合的有機的な連絡等で大きな改善の余地があり、今後も総合的連絡会を開き激増する交通事故に対処すること等を決めた。



## 全国会員大会

### 日本青年会議所全国会員大会 価値観創造テーマに一万人が参加

日本青年会議所の第19回全国会員大会は17、18日の両日、名古屋など四地域、16会場で全国450の青年会議所から1万人におよぶ会員が参加し開催された。この全国会員大会は毎年1回開かれ、その年における各地区青年会議所活動の成果を集大成するとともに、翌年度の事業計画を決めるなどして新しい活動の起点ともなるもので、鳥取JCでは玉木理事長以下30人が参加した。開会宣言の後、米原会頭の「公害防止に全力、アジア問題の中の日本」という意識の普及など所信表明があった。吹上ホールのJCナイトでは、しゃんしゃん傘おどりが披露され、万場の拍手を受けた。また、国際ホテルのLOMナイトでは郷土の名産二十世紀梨や豆腐竹輪などが人気を集め、全国のJCマン達と友情を深めた。18日は愛知文化講堂で、日商会頭の「70年代の日本経済と道州制について」というテーマの講演があった。なお、次期会頭に秋保盛一君（大阪）が決った。



# 卒業生追出



## 1970年度卒業生

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 河 | 田 | 博 | 志 |
| 佐 | 野 | 幸 | 男 |
| 田 | 中 | 正 | 昭 |
| 中 | 尾 | 喬 | 一 |
| 三 | 宅 | 金 | 延 |
| 米 | 沢 | 安 | 民 |

(順不同)



## 1971年度



理事長  
池内 勝信

### 1971年度 鳥取青年会議所役員

|            |       |
|------------|-------|
| 理事長        | 池内 勝信 |
| 直前理事長      | 玉木 久夫 |
| 副理事長       | 古寺 善三 |
| 〃          | 浜崎 泰三 |
| 〃          | 山根 常愛 |
| 総務委員長      | 山家 哲彦 |
| 総務副委員長     | 清水 昭允 |
| 広報委員長      | 永井 伸和 |
| 広報副委員長     | 福田洋一郎 |
| 都市問題委員長    | 前川 清治 |
| 都市問題副委員長   | 建部 徹  |
| 経済活動委員長    | 平野 之致 |
| 経済活動副委員長   | 谷本 光正 |
| 社会福祉委員長    | 小島 英二 |
| 社会福祉副委員長   | 角谷 弘海 |
| 青少年問題委員長   | 安東 正  |
| 青少年問題副委員長  | 山名 利和 |
| 指導力開発委員長   | 本田 博  |
| 指導力開発副委員長  | 中井 積  |
| 会員委員長      | 尾崎 良一 |
| 会員副委員長     | 中沢 洋雄 |
| 日本J C 直前会頭 | 米原 正博 |
| 日本J C 出向委員 | 浜崎 貢三 |
| 山陰ブロック出向委員 | 縫谷 昌生 |
| 監 事        | 小谷 信行 |
| 〃          | 芝岡 禎一 |
| 〃          | 中井 晋  |

## 「すべてのJ C活動の根底に愛を」

### あるインタビュー

1971年理事長

池内 勝信

Q お忙しい中をどうも。事業については別に年表をつくりますので、あなたの理事長時代の思い出苦心談などをうかがいたい。

Ike はい。もう思い出すほどの昔になりましたか。玉木さんの後昭和41年12代でした。4年もたてばさほどでもないが、その頃は60年安保の余波で荒れ狂う70年代に入ったという実感におそわれて、ここで我々がやらねば日本はどうなるかという気概が会員すべてに溢れていました。

Q では事業計画にもそういうことをおりこんで？

Ike いやそれが理事長としていささかやりにくい所で、国家的国際的視野で限られた予算と任期中にJ C精神を生かしながらこの鳥取の地域社会をより明るく豊かにするには……

Q それは又えらい事で、で具体的には何がしたくて、

どの様になさったのか、簡単に。

Ike 断絶という言葉で代表されるギクシャクとした社会に「愛」がなければと心と心のふれあいを基調にしてと訴えました。しかし具体的な活動となると伝統的な少年野球を始めとして施設の運動会等の11年の年輪が重く感じられて新しい活動はなかなかやりにくい。

Q それほどしおらしい理事長でしたかね。

Ike それをいわれると汗が出ます。まあ、いいたい事をいい、やりたい事をやらせてもらったのは、歴代理事長の中で2番目くらいかとは思っていますが。そのかわり頭をこずかれた事もありましたが、それはそれなりに人生勉強になりました。

Q 記録によればあなたの理事長時代のJC活動はマスコミによく出ていますが。

Ike そうですか。広報さんがガンバラれたのでしょうか。ともかく今でも自負しているのは、バックアップしてくれた浜崎(泰)、古寺、山根(常)三副理事長以下の鳥取JCかってない最強最良の役員を持ち得た事、寒風下の1月2日「あゆみの箱」の愛の募金を始めとする全会員一致のもり上りです。

Q チャーターメンバーとして鳥取JCとは？

Ike 今さらながらのおたずねですね。新しい団体をつくる時の苦しみも今は楽しい思い出となりました。特にチャーターナイトに実行委員長をつとめさせていただいて。…商売気なしにふとん屋が鉄屋、酒屋、自動車屋さん方と個性にふれる迄のおつき合いをさせてもらえるのはJC以外

にありますか。ふとん屋に綿や更紗の事ばかりでなく、袋川をきれいにしよう。鳥取を、日本を、世界をよくしようと目を大きく開く機会を与えるのはJC以外にありますか。

Q おしまいにこれからの鳥取JCに一言。

Ike どの様に活躍されるか楽しみです。OBでも役に立つことがあれば使ってください。15年は最初の40才の会員を55才にし、20才の新人と35才もひき離しました。利用すれば面白いと思います。ますます発展を祈ります。

## 【心身障害児(者)に愛の手を】

池内新理事長の「すべてのJC活動の根底に愛を」という主張にそって、愛を貫く社会開発の提唱で「心身障害児(者)に愛の手を」と本年度チャリティショウが開催される事に決った。

「あゆみの箱」街頭募金、職場募金と地味ながら着実な活動展開を目指し、ショウ開演まで愛の募金運動が展開された。



## 「新年を「あゆみの箱」 街頭募金でスタート」

鳥取JCは新春早々の1月2日厳寒をついて、心身障害児(者)のための「あゆみの箱」街頭募金運動でスタートをきった。正月三ケ日のうち一番天候の悪かった当日朝、9時30分大丸前に集合、池内理事長を先頭に多数のメンバーが応援のBBS会員と共に、タスキをかけ、「あゆみの箱」をそれぞれ持って、駅前、本通り各地で晴着姿や、家族づれで通り行く人々に2時間にわたって趣意書を配布しながら愛の募金を呼びかけ多数の市民の協力を得た。この募金運動は10月開催予定の「あゆみの箱」チャリティショウまで行われる。



## プロジェクトチーム編成から 実行委員会発足へ



4月14日チャリティショー問題について、プロジェクトチームが編成され、チーフに浜崎貢三君が決った。尚、あゆみの箱チャリティショー鳥取大会は2回目で山陰放送の協力を得、来る10月10日市民会館大ホールと決定され同時に開箱式も行う事になった。

9月8日、開催日がせまり大事業であるため万般の準備を要し、より一層スムーズに運営する事が要請されると、現在あるプロジェクトチームを発展的に解消し新たに理事長を中心に全員参加の実行委員会を発足させる事になり、綿密な準備段階に入った。又、出演タレントはあゆみの箱より花菱アチャコ他1名、三遊亭小門馬他15名と最終的に決った。



## 心身障害児(者)へ愛の心を あゆみの箱チャリティショー開く!

心身障害児へ愛の手を、をスローガンに、新春早々街頭でスタートした募金活動は、以来各事業所において実施され、会員を通じて広く市民に愛されてきた「あゆみの箱」の開箱式を10月10日昼夜二部制で第2回あゆみの箱チャリティショーと、ともに鳥取市民会館で多数の市民を集めて盛大に開催された。「あゆみの箱」は花菱アチャコ、中谷県厚生部次長、金田鳥取市長、県知事夫人をはじめ、出演者全員とJ Cメンバーが遷喬小学校児童の鼓笛隊に先導されて入場、ステージ上の大箱の中に次から次へと開箱され、満席の一般市民、招待された心身障害児(者)から盛んな拍手を浴びた。尚、あゆみの箱募金とチャリティショーの純益金(約40万円超)は、あゆみの箱本部を通じて市の心身障害児施設に還付されることになっている。

すべてのJ C活動の根底に愛を、と池内理事長が年初、主張し、それを基に今日まで各種の事業を実行してきたが、中でも今回は大変な大事業であった。このショーを成功裡に終了し得られたのは先輩OB、山陰放送はじめ関係機関各位のご協力、J Cメンバーの絶大なる協力、行動等があったからであると云える。

その夜、龍仙閣に於て出演者を囲む懇親会を挙行、奥村あゆみの箱事務局長の挨拶、永遠のプレイボーイ花菱アチャコ氏の音頭による乾杯と和気合々。J C会員全員が陰に陽に一致協力して大成功ともいえる成果を得た後なので、美酒と言った所である。最後にJ C会員、出演者皆一様に衣を脱ぎ捨て、肩を組み輪となって「若い我等、の大合唱、一つの社会福祉事業を為し遂げた満足感と異なる社会的立場や年齢差、境遇の違い、更に地理的隔たりを乗り越えた人と人の心のふれ合いの暖かさが、どの顔にも満面に表われている様だった。

## 【都市機能と交通問題】

「交通安全思想の普及」と「交通規則と緩和策」等交通問題に取り組むことを本年度の重点事業の一つとし、着実に計画、プロジェクトチームを編成して、実行へと移った。



### 交通道德の高揚と 再教育を市民総ぐるみで

1月26日正午からレストランデュース特別室に於て竹田鳥取県警察本部長、宮前交通部長、山内鳥取署長の3氏を囲み交通事故防止への取り組みにあたって専門家としてのアドバイスを主体とした懇談会を開いた。席上、市民の交通モラルの低下、交通事故への意識不足が指摘され教育は統一的に行わず、単純な方法論から再教育し、運転者、歩行者に対して地についた指導が必要、県民として猛省すべきであると強調された。





## 春の交通運動に街頭指導を実施

子供と老人の交通安全の確保をスローガンのもとに春の交通安全運動の前期が4月5日スタートされた。この日朝7時15分県庁前にメンバーが集合。鳥取署長より「交通事故防止についてJCの皆さんの立ち上りに感銘を受けた。若い力で交通事故のない明るい町づくりに尽していただきたい」旨の訓示を受け、同交通課長より注意事項を聞いた後、県庁前、中電前、旧とりせん前の交差点において、交通安全のチラシを配布し歩行者の指導にあたった。

## 交通遺児に愛の手を

交通遺児対策から交通安全思想の普及を盛り上げるため、「交通遺児に愛の手を」をスローガンとして5月13日午後6時30分から市民会館で東京オリンピックや万国博出場演奏技術を高く評価されている陸上自衛隊中部方面音楽隊を招いてジャンボミュージック・フェスティバルを開催、市民入館者へ交通遺児に勇気と希望を抱かせるため激励しようと呼びかけ、募金運動を展開、多くの方から暖かい募金10万円余りが寄せられ、関係方面へ手渡された。





## 【将来の展望から身近かな問題へ】

鳥取市の総合開発が如何にあるべきか、自から調査し討議して未来と将来の展望を語る為には研究しなくてはならない、身近かな問題として昨年からの継続事業「袋川美化運動」の推進へと積極的に行動された。



### 高木鳥取市建設部長を囲んで

1月28日ナショナル会館に於て高木鳥取市建設部長を囲んで研究会を開催した。3時間にわたって鳥取市が当面している諸問題について熱心に討議が行われた。主な論題として、

- 鳥取駅高架計画と駅前区画整理
- 袋川美化と駐車場問題
- 鳥取市交通計画
- 湖山池周辺開発
- 鳥取港の問題
- 山陰海岸観光道の整備



### 市長と袋川どぶ川くんだり

9月28日正午より袋川美化運動（JCデー統一事業の一つ）として県警機動隊の救助用ボート二隻に金田市長、池上、足立市議、小谷婦団協会長、科学博物館清末先生、報道関係者、池内理事長他メンバーら約15人が分乗して、大杣取水口から若桜橋まで約2キロ間の汚濁現地視察を行った。雑草がのび、川幅もせまく吉方橋、弥生橋あたりには、ゴミの捨てた跡があちこちに見られる。水もどす黒く、川底の泥の中にあきカン、ポリ製品等がめり込んでいる。河川敷きの不法建物、橋脚にかかっている大量のゴミが目立ち悪臭もただよい、何等生物も見当らない。これが市街地を流れている川かと目を覆いたくなり、話と目で見るのとは大違いで、「ひどすぎる」と云うのが金田市長を始め一行の感想であった。しかし、汚染の実態を知り「今なら遅くはない」「袋川は守れる」との感を強めた事は我々にとっては大きな収穫であった。

### 袋川美化は市民総ぐるみで

袋川美化問題に関して金田鳥取市長を囲んで7月2日午後レストランデュースに於て、積極的、且つ発展的意図の下に熱心な討議が行われた。問題が行政サイドのみによっては、解決困難であり、いわゆる市民総ぐるみの運動として盛り上げて行く必要がある。鳥取JCはこの市民サイドの役割を果しつつ、同時に行政サイドへも積極的に働き



かけて、一日も早く我が鳥取を住み良い美しい心のふるさとに作り上げていく為、この袋川総合美化整備を推進しなくてはならない。我々JCメンバーにとって格好の勉強会となった。



## 【経済研修会を一貫して 最優秀委員会に】

年々、供給超過、企業収益の悪化、更に公害、賃金、消費者の不買運動等を考え、われわれJC会員は昨年迄と全く同じ経営姿勢では絶対にやって行けない。経済活動委員会は地味な経済問題研修会を一貫して一年間行い足許を見つめる委員会として成果を上げ、最優秀委員会に選ばれた。



## 「日本はどうか」文化講演会

5月7日県庁講堂で鳥取JC、県、読売新聞社共催により「日本はどうか」と題して、読売新聞大阪本社論説委員長岡田万亀雄、東京工大教授林雄二郎、漫画家近藤日出造の三氏を招き、一般市民も多数参加、岡田講師は「70年代日本をとりまく諸情勢」、林講師「情報社会の盲点」、近藤講師「現代日本の世相をきる」と、それぞれ講演された。各講師の論旨は我々鳥取JCの活動を一段と活発化していく上に大いに学ぶことがあり、深く感銘を受けた講演会であった。



## 新卒予定者求人就職問題セミナー

第5回を迎えた経済問題研修会は「積極的な受け入れ体制を」と題して新規学校卒業予定者求人就職問題を取り上げたセミナーを開催した。各企業とも労働力不足に頭を痛めている現在、非常にタイムリーなゼミナールであり、関係各企業の労務対策係も多数参加、熱心に聴講した。講師には鳥取職業安定所椿課長、鳥取雇傭促進協議会山根氏他、管内12高等学校の職業指導係の先生方を招き最近の状況、問題点等が話し合われた。中でも県外企業と県内企業の求人数対比に於て圧倒的に県外が多く、初任給の問題、受け入れ体制等県内企業の積極性を強く希望されていた。

## 第2回サッカー教室開催

昨年度の長沼健氏に続き、メキシコオリンピック日本チームキャプテンとして、はなばなしく活躍された八重樫茂生氏を迎え、市営サブグラウンドに於て3月27日～28日の2日間技術面、実戦面、練習方法を



重点的に指導を受け盛大なサッカー教室を開催した。参加人員も予想をはるかに越え延べ約1,000名にもものぼり、昨年のサッカー教室以降のサッカー熱の高揚には目を見張るものがあり、野球に次ぐ全国的なスポーツとして広く、急速に発展している。

## 家 族 会

好天に恵まれた5月16日、新緑の大山と蒜山高原でウラボシ狩り、とバス2台に分乗、新緑に輝く大山、ジンギスカン料理、家族そろってウラボシ狩り競争となごやかな一日であった。

## 第10回施設合同運動会

継続事業の一つ、施設合同運動会も10回を数え、好天下の5月23日鳥取砂丘で開催、積善学園他5施設の児童400名を招待し、BBS会員の協力によ

って盛大な運動会となった。広々とした大砂丘の中で我が身の不自由さも忘れ、唯競争に没入している子供達はとても印象的であった。



## 豊かな人間関係をつくるために

鳥取 J C、商工会議所等地元諸団体の共催で「豊かな人間関係をつくるために」と題して奈良薬師寺管長高田好胤師（JCOB）の講演会が7月2日明治生命ホールで開催された。現代は「物が栄えて、心で滅びる、世相、般若心経で云う「色即是空、すなわち物の世界と心の世界の調和が大切」と、述べられた。



## J C ルーム 新設

商工会議所増築に当り、一室を借り受け全会員待望の J C ルーム設置が実現した。7月22日念願の J C ルームを広く活用してもらいたいと披露パーティを開催、生ビールの「タル」を持ち込み飲み放題、早飲み競争と和気合々で開設を祝った。



## 第11回鳥取市少年野球大会

第11回を迎えた鳥取市少年野球大会は8月6日～9日までの4日間、本年度から行われる県少年野球大会の予選を兼ねて、鳥取西高、醇風小学校両グラウンドで開催された。本年は初出場校3校を加え最高の24チームが参加され息づまる熱戦がくりひろげられた。応援合戦も年々ハデになり、結局、醇風小学校が三度目の優勝を飾り、夏の暑さも吹きとばす青少年の心身育成の場であった。

## 体カテスト

鳥取市体育課の協力により、鳥取 J C マンの体カテストを9月11日明德小学校講堂で実施。敏捷性、持久力等のテストの結果、総合力で判定すると云うもの。40才に近い会員で20才代と云う結果や、25才で40才代の体力と判定されるなど、さまざま。概ねまだまだ若い鳥取 J C マンと云う総合診断。



## 1972年度



理事長  
古寺善三

### 1972年度 鳥取青年会議所役員

|            |        |
|------------|--------|
| 理事長        | 古寺 善三  |
| 直前理事長      | 池内 勝信  |
| 副理事長       | 山家 哲彦  |
| 〃          | 中井 積   |
| 〃          | 安東 正   |
| 総務委員長      | 小島 英二  |
| 総務副委員長     | 道盛 泰次郎 |
| 広報委員長      | 建部 徹   |
| 広報副委員長     | 宮本 博介  |
| 都市問題委員長    | 縫谷 昌生  |
| 都市問題副委員長   | 谷川 静美  |
| 経済活動委員長    | 前川 清治  |
| 経済活動副委員長   | 木村 武生  |
| 社会福祉委員長    | 清水 昭允  |
| 社会福祉副委員長   | 小林 英明  |
| 青少年問題委員長   | 川島 久   |
| 青少年問題副委員長  | 岡垣 彰   |
| 指導力開発委員長   | 福田洋一郎  |
| 指導力開発副委員長  | 吉原 勝己  |
| 会員委員長      | 山名 利和  |
| 会員副委員長     | 谷本 光正  |
| 日本J.C 出向委員 | 浜崎 貢三  |
| 〃          | 涌本 裕之  |
| 山陰ブロック出向委員 | 足立利喜雄  |
| 日本J.C 顧問   | 米原 正博  |
| 監 事        | 尾崎 良一  |
| 〃          | 本田 博   |
| 〃          | 山根 常愛  |

## 「若者と共に語り創造しよう」 和を基調とした全員参加のJ.C創り

### 小さな善意の市民運動

1972年理事長

古 寺 善 三

鳥取青年会議所創立15周年にあたり入会14年目をむかえた私がその運動の中で体験した市民運動の一端を申しあげ、人の和とその善意がいかに貴重であったかということをごさんと共に再認識したいと思います。

私達青年会議所が修練、奉仕、友愛の3つを信条として活動する団体であることは周知のとおりです。1972年私は全会員諸兄の卓越した創造力と力強い若さに助けられ鳥取砂丘子どもの国の中心に「きぼうの泉」を建設することができました。その基金はすべて市民、県民の皆さんに呼びかけた小さな善意の集積によるもので募金箱を手に街頭に立って下さった青少年のグループ、街頭募金だけにとどまらず「1円玉拠出募金」にまで輪を広げていただいた婦人団体の皆さん、市民の一人一人までにと募金にご協力賜わった町内会、区長会の皆さん、老いも若きもと力一杯のお力添

をいただいた老人クラブの方々、「きぼうの泉」建設の輪は実に5万人に亘る多数の幅広い人達のご参加を得て、遂に目標の3百万円を超え309万547円となりました。昨年5月5日子どもの日、明るい初夏の陽ざしのもと開園の喜びに集った子ども達の笑顔をそのままに市民県民の小さな善意の成果である「きぼうの泉」が力あふれる水柱を青空に向かって噴き上げたのです。

この運動に合わせて私達のよき協力者になっていただいた青年サークルの皆さん、この若人の方達との対話が私達青年会議所の新しい進むべき道を教えて下さいました。

『青年の座談会』と名づけられたこの集いは回を重ねる毎に、若い皆さんの健全な考え方、行動などから年長を自負する私にむしろ教訓を残してくれました。若い仲間が一堂に会した『若人の祭典』で共に手を取りあって踊ったり、深更まで語り合ったあの熱っぽいふんいきが私達に青年のリーダーとなるべき責任の重大さを教えてくれました。そうした青年の皆さんとの対話から生れた新しい事業に『鳥取市愛の献血推進協議会』の創設があります。多発する交通事故に備えてのこの種の組織作りは大きな反響を呼びロータリークラブ、ライオンズクラブ等各奉仕団体の一体化をみ、一年間終始応援して下さいましたマスコミ関係皆様のご協力を得て立派に発足したのです。

青年会議所の歩みは私達の日常生活と共に、日々刻々と時をきざんでおります。創設時から受け継がれたJCスピリットは15年を経た今も又これからも力強く私達の心の中で脈々と息づいております。よりよき明日の為に、14年間の青年会議所会員諸兄との間に生れた素晴らしい友情、社会の皆さんの暖かいご指導を胸に、感謝の気持ちをもってみず

からの手をよごし、共に汗して残り少ない青年会議所活動を、又社会人経済人として地域社会発展の為に微力を尽す決心です。

5万人余の方々のご参加を得た『小さな善意の市民運動』は『きぼうの泉』建設だけにとどまらず、あらゆる地域発展の諸事業にこれからも噴き上る泉のように力強く展開されることを祈念しております。

# 県民の手で、こどもの泉、を

(サンケイ新聞5月10日転載)

## —— 鳥取青年会議所が建設呼びかけ ——

総工費10億円をかけて建設が進められている鳥取砂丘・こどもの国。その真ん中、お祭り広場の一角を県民が借り切って、県民手で「こどもたちのために泉をつくろう」という運動が、5日の「こどもの日」鳥取市でスタートした。お上りまかせの伝統を打ち破り、県民の手で、あすのこどもたちのために、なにかを残そう—というのが運動の趣旨。「砂丘に水と緑を」を合いことばに「一人でも多く募金を」と、県民に呼びかけている。

こどもの泉、の建設を呼びかけているのは、鳥取青年会議所＝JC＝(古寺善三理事長、86人)。鳥取JCでは「市民に密着した明るい町づくり」をと、いろいろな活動を続けているが、泉キャンペーンは、これまでの閉鎖的な活動のカラーを破ろうという新しい試み。JCだけの運動ではなく、県民運動、市民運動にまで持っていくという。

古寺理事長は「ただの募金運動ではつまらない。お役所まかせじゃなくて、県民がひと握りの善意を持ち寄って、あすのこどもたちに泉を残そうという計画です」と話す。市民運動が育たないといわれる鳥取に、本当の市民運動の足場を築こうというわけ。

それだけに、鳥取JCは、あくまで募金事務局の看板をかかげるだけ。ヤングパワーを結集した運動推進のため、青少年グループに協力を呼びかけているが、すでに鳥取連合青年団やBBS、日赤奉仕団など6団体がOK。5日の「こどもの日」には、鳥取砂丘2カ所と旧とりせん角、鳥取大丸前で、最初の街頭募金に立った。



計画によると、泉の建設費(募金目標)は300万円。10億円の総工費からみると、本当に「ひと握り」。お祭り広場の横に約100平方メートルの敷き地を確保15～30平方メートルの循環式泉をつくる。いまのところ、デザインや名称も、まったく未定。8月末までには設計をまとめ、9月から建設にかかる予定で、泉の名称は近く県下のこどもたちから公募する。

募金の世話をする山家哲彦氏は「県民全員が手をつないでつくりあげた泉。そういうものにしたいので、1円でも多く、より1人でも多くがねらい。当面、募金



箱を各地に設置しますが、毎月こども泉募金の日を決めて、各町内会などにも、お願いして街頭募金を呼びかける」という。いま、10円募金や廃品回収、タイル売りなどアイデアを検討中で、来年3月までには、300万円を集める方針。

役人まかせを否定して、自分たちの手で、こどもたちに泉を、というこのキャンペーン。市民運動にまで盛り上がるかどうか注目されているが、若者たちは「つくることに意義がある」と、さっそく募金に走り回っている。

「砂丘に水と緑を」

一人でも多く募金集めて

# こどもの国に「泉」を

## 目標は3百万円 鳥取 J C が募金活動

明治百年を記念して、県福祉事業団が建設中の「鳥取砂丘こどもの国」は、来年4月オープンを目ざして、鳥取市浜坂地内で急ピッチで工事が進められているが、鳥取青年会議所（古寺善三理事長）は、この「こどもの国」に「夢と希望にあふれる泉を建設しよう」と、募金活動を積極的に繰り広げている。

快晴に恵まれた25日の日曜日、鳥取市の旧とりせん交差点に鳥取市連合婦人会（小谷春子会長）の協力を得て約20人が立ち、道行く市民にピラを渡して募金を呼びかけた。

募金を始めたのはことしの「こどもの日」。毎日曜日に鳥取砂丘、旧とりせん角で運動を続け、すでに目標額3百万円の1割、約33万円が集まった。街頭だけでなく官公庁、事業所などでも続けているが、鳥取青年会議所は「こどもの国」がオープンする日まで募金を行ない、何としても目標額を達成させる意気込みで、一人でも多くの県民に泉づくりに参加してほしいと訴えている。



募集中。

○「事務局のまごめ」は二十  
二日現在で、すでに一万二千人が  
約七十五万円を募金。事務局では  
来年三月を目標に「五万人参加、  
三百万円達成」をめざしており、  
いま泉の名称のシンボルマークを  
募集中。

喫茶店におかれた募金箱  
……………  
のおまつり広場で、泉をくぐらう  
というもので、すでに若ものサー  
クルから婦人、老人団体まで十八  
団体が協賛、職場や家庭での自主  
募金を呼びかけている。



○「募金運動」は、未来の  
こどもたちのために、県民が出し  
合った募金で、砂丘こどもの国  
の事務局（鳥取青年会議所）で  
は、このほど、募金箱を百個  
つくり、銀行やターミナルなどに  
置いて、募金を呼びかけている。

○「砂丘に建設中  
の「こどもの国」  
に、県民の手で泉を  
くぐらうと、募金金  
運動を呼びかけてい  
る。「募金金」







## 愛の献血推進協議会結成総会開催さる

(10月5日 PM2時 於商工会館)

血液センター及び県、市の担当機関の要請によって、J C 等 11団体が発起人となり、8月8日「鳥取市献血推進協議会」(仮称)の発起人会が開かれ、ここに結成となる。

この団体は、従来迄の各個バラバラで献血が無政府状態にあったものを組織化していくこと、献血者の確保などを主たる目的とし、この団体に加入したものは、率先して献血者を開拓していくことを主点としている。主な加入団体名は鳥取中央ライオンズクラブ、東部高等学校校長会、鳥取ロータリークラブ、市連合婦人会、市連合青年団、東部医師会、鳥取商工会議所、鳥取青年会議所、市婦人団体協議会、市町内会連合会、市区長会連合会等である。

献血推進協議会発起人会 (8/8)



## 若人の祭典、サタデー・ナイト・ミーティング盛大に開催される

(10月7日 於 勤労青少年ホーム)

ヤングブルー計画の一環として、又古寺理事長のスローガン「若者と共に語り創造しよう」により年度当初から数回にわたる青年の集いの総大集ともいべきこの祭典には、若人のグループ（BBS、市連合青年団を始め、10団体計 120余名）と青年会議所より10名計 130名が参加した。

午後6時、川島青少年問題委員長の挨拶を皮切りに自由交歓、ゲーム、キャンドルサービスとムンムンする若さの中で終始はつらつとしたなごやかな交歓が繰り広げられた。

深夜、午前1時から5時迄行なわれたフリーミーティングでは、混迷した社会状況の中で様々な問題に取り組み、悩む若人の赤裸々な姿が浮彫りにされ、居眠りする者も少なく、真剣な眼差しの中での4時間の討議は、若人の祭典の大きな収穫であった。

プログラムが夜通しの為、当青年会議所メンバーによる夜食コーナーが設けられ好評であった。



# 泉、建設キャンペーン子供マンガ大会

8/23 於 市民会館  
12/17



8/23... 4,000名のチビッコ集まる



12/17... 5,000名のチビッコ集まる





## 鳥取砂丘こどもの国

# きぼうの泉 起工式

市民の善意で鳥取砂丘こども起工式が、二十五日午前八時の  
の国に建設する。きぼうの泉。十五分から鳥取市浜坂の現地に



雷降る中でクワ入れする石破知事、三千代ちゃん、大森助役、  
祥三君、古寺理事長ら（左から）

## 知事ら出席、クワ入れ

### 「市民の善意が結集」

関係者約四十人が出席して行な  
われた。  
式は泉建設運動を進めている  
鳥取青年会議所（古寺善三理事

長）が中心になって行なわれた  
が、石破知事、大森鳥取市助役  
がそれぞれ県民、市民の代表と  
して、また子供の代表として泉  
のシンボルマークが採用された  
西尾祥三君（三）日進小六年  
生、ネーミングが採用された松  
戸三千代ちゃん（二）小き花  
園幼稚園の二人も出席。季節  
風が吹きすさび、粉雪が舞う中  
を寒さにふるえながらの神事の  
あと、各代表がクワを入れて工  
事の無事完成を祈った。  
きぼうの泉は、来年四月にオ  
ープン予定の鳥取砂丘こどもの  
国の中央部、砂丘館入り口に建  
設する噴水で、縦十一メートル、横四  
メートル、深さ三十センチの池に直径三十  
センチのステンレス製円筒を三本立  
て、二層の高さに噴き上げるも  
の。総工費三百万円はすべて市  
民の募金でまかなわれるが、設  
計は東京の環境デザイン研究所  
長、仙田鶴氏（三）が無料奉仕し  
たほか、建設費は鳥取青年会  
議所会員が原簿奉仕するなど、  
市民の善意が結集している。現  
在募金は三万一千人から百九十  
万円集まり、あと一息の状態。  
一方、こどもの国は本工事を  
終わり、あと展示工事、遊具歩  
道、正面道路を築きだげとなっ  
ている。

第3回鳥取市

講師 吳球技学校体育指導員 八重徑茂生氏

主催 鳥取県青年会議所  
後援 鳥取県教育委員会  
鳥取市教育委員会  
鳥取市サッカー協会

# サッカー教室

## 第3回サッカー教室

4月1日～2日



## 第11回施設 合同運動会

6月11日



# 婦人の集い

7月9日

於 鳥取ボウリング



古寺理事長挨拶

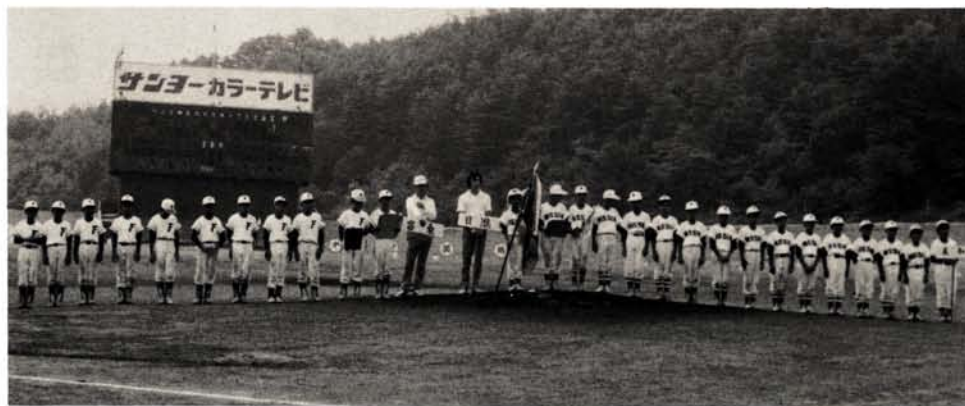


きっと私が優勝よ



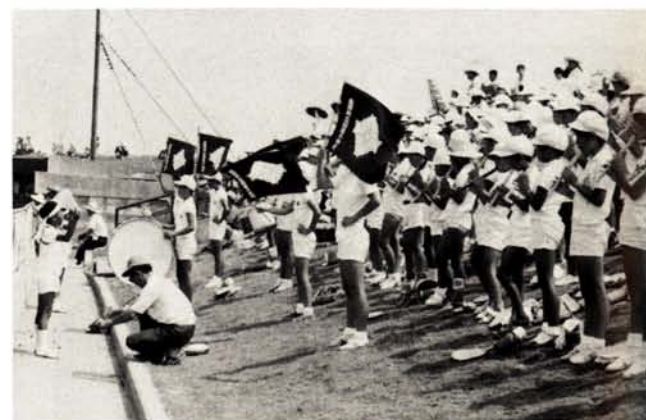
浜崎コーチ「何をコーチするのやら、」





## 第12回少年野球大会 8月4日～6日

延長12回迄勝負つかず、ジャンケンで優勝を決定。  
日進チーム優勝なる！





## 市長と市民のつどい

(11月16日 於 農協会館)

テーマ 「鳥取市の将来を考える」

我々青年会議所をはじめ、各町内会、商店街連合会、婦人団体、各種団体等の百数十名が参加して行なわれた。市の要望もあり、青年会議所副理事長山家君の司会で運営された。終始非常に活発な意見、苦言が発言され、答弁には市長の苦虫をかみつぶした様な顔も見うけられる場面もあり、時にはテーマとかけ離れた発言もあったが山家君の臨機応変な司会により、終始なごやかな雰囲気の中に運ばれた。



## 年忘れ家族大会

12/16 於 農協会館



古寺理事長より次年度涌本理事長へ  
バトンタッチ!





# 1973年度



理事長  
涌本 裕之

## 1973年度 鳥取青年会議所役員

|              |       |
|--------------|-------|
| 理事長          | 涌本 裕之 |
| 直前理事長        | 古寺 善三 |
| 副理事長         | 川島 久  |
| 〃            | 清水 昭允 |
| 〃            | 本田 博  |
| 総務委員長        | 太田 貞之 |
| 総務副委員長       | 道盛泰次郎 |
| 広報委員長        | 宮本 博介 |
| 広報副委員長       | 石河 公直 |
| 都市開発委員長      | 建部 徹  |
| 都市開発副委員長     | 尾崎 良一 |
| 経営者開発委員長     | 小林 英明 |
| 経営者開発副委員長    | 粟島 道和 |
| 社会開発委員長      | 福田洋一郎 |
| 社会開発副委員長     | 福島 規行 |
| 青少年開発委員長     | 木村 武生 |
| 青少年開発副委員長    | 寺谷誠一郎 |
| 指導力開発委員長     | 前川 清治 |
| 指導力開発副委員長    | 中島 康介 |
| 会員開発委員長      | 角谷 弘海 |
| 会員開発副委員長     | 加納 衛  |
| 日本J.C. 出向委員  | 安東 正  |
| 〃            | 山根 常愛 |
| 山陰ブロック協議会副会長 | 中井 積  |
| 山陰ブロック協議会副幹事 | 縫谷昌生  |
| 監 事          | 池内 勝信 |
| 〃            | 谷本 光正 |
| 〃            | 山名 利和 |

# 「新らたなる挑戦」

## 1973年理事長

### 涌本 裕之

1973年のJ.C.運動はJ.C.が常に社会の中で明日を期待されるリーダーとして、市民を動かし新しい社会を創造し開発する。そのためには自からが一市民として社会開発の実践の場を通じて個人を開発していく運動すなわち「社会と人間の開発」でありました。

自からの生活をよくすることは自からの地域社会がよくなってこないとは達成されない。自分のためにする運動は結果的には自分の地域社会をよくするための運動でもあったわけです。

こうした中で社会とJ.C.とのか、わり合いをどのような形でもっていか具体的には市民の質の向上を啓蒙して行くためのプログラムを模索し実践活動にうつす運動、これが1973年度のテーマ「新らたなる挑戦」であったわけです。

前年よりの継続事業の子供の国に泉が完成、青少年との対話、住民との語らいを通じての楽しかった日々、水飢饉に喘いだ夏、鳥取城下町400年を祝う大名行列、自然を大切

にを合言葉にお堀に鯉を放流、花いっぱいをねがう植樹祭  
いろいろなことがありました。あらためて活躍された会員  
諸兄に深く感謝いたします。

一方会員の意識の問題として提起されたJ Cはいかにあ  
るべきかは、特に参加意識を討議し、深夜にも及んだ総会  
も今は思い出になろうとしております。

ただ忘れてはならないことは、我々がJ Cに何で集まっ  
て来たか、何んのために、何をなそうとして、集まってき  
たのかということです。J Cは運動であります。運動とは  
真剣に苦しみ、悩み、何かを生み出すものであります。自  
分を動かすものであり、決して人が動かしてくれるもの  
ではないと思います。

活動はピストンであり往復運動にすぎないが、J C運動  
は長いサイクルの中のもので、地についた小さなその活動  
の蓄積の結果生み出されるものだと信じます。

こうした運動の中に自からを研鑽練磨するために集まっ  
て来た会員が自からのおかれている立場や条件に左右され  
ることのないJ Cであってほしいと考えます。

J C運動の格差は、意識の上の格差であり、その巾以上  
には運動はなかなか広がっていかない。自からが意欲の  
高い人間か、そうでない人間かはJ C運動の展開の中に情  
熱を注ぐか、どうかの問題であって人格そのものでない  
と思います。

J C運動は地域社会に密着していること、そうでないと  
無意味なJ C内だけのいわゆるコップの中の運動に終っ  
てしまう。そのためにも意識をもった参加姿勢が望まれる  
わけです。

このことはJ Cに集まって来た一人一人の会員の初心を  
思い起す時、何をなすべきかはおのずと答えが出てくる  
のではないのでしょうか。

鳥取青年会議所も本年で創立15周年を迎えます。

歴史は幾多の風雪の中に刻ざまれてきました。初心を忘  
れることなく、これらの教訓が明日への飛躍の糧となるこ  
とを期待しております。



県民の願いを託し、盛大にオープンした「鳥取砂丘こどもの国」(5/5)



こどもの国のテーブルが、今その子供達の手で…………。

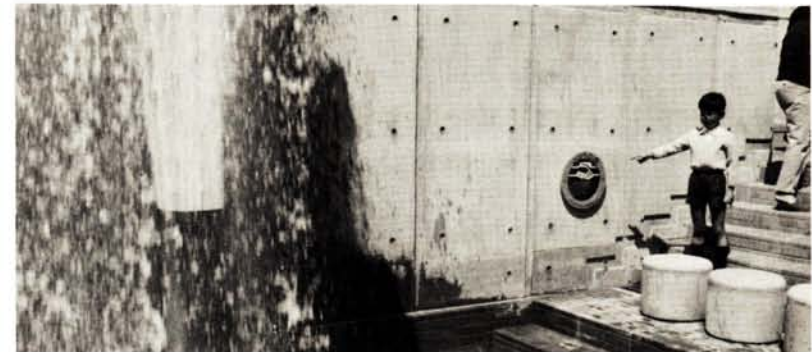
47年度理事長小寺君を特別委員長として取り組んだ、「きぼうの泉」の建設が、「鳥取砂丘こどもの国」の開園と合せて無事完成。我々JCメンバーが、単なる金銭以上に、より多数の市民の善意を結集して子供たちに、何かを贈ろうと立上り、街頭募金、子供マンガ大会開催等、他の多数のグループの若人達と手を取りあって進めてきたこの「きぼうの泉」。

募金、催し、設計、施工、シンボルマーク等々、本当にたくさんの方々より協力の手が差しのべられた。

我々もかってない程に打込んだその成果が、今この目の前に姿を見せているのだ。

後は、この泉が、どのような形で子供達の中に生き続けてくれるかであり、又、我々のなしたこの多大なエネルギーの結集が、将来の我々に何をもたらすかであろう。

本当に良かった！ 良くやった！ お互いにごくろうさん！



湧き上がる噴水の下、西尾君制作のシンボルマークを指さす子供達



開園記念式典で、感謝状を石破知事より受ける古寺、泉建設特別委員長



青年グループの協力による街頭募金



子供マンガ大会受付



岡垣夫人の手による七宝焼のシンボルマーク



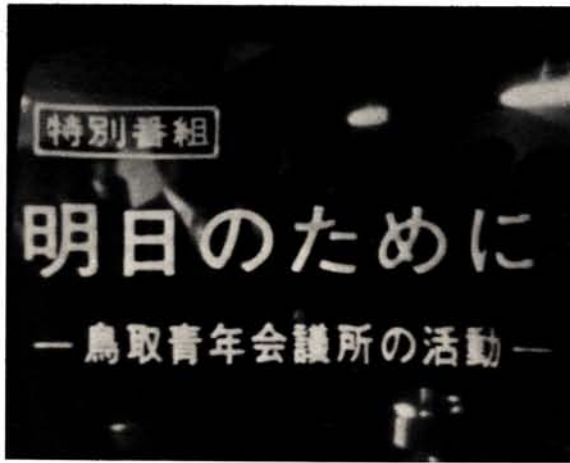
「きぼうの泉」を守る会、鳥取市民代表者会議



同大会でシンボルマーク、ネーミング作成者に感謝状を送る古寺泉建設特別委員長



泉完成祝賀パーティー (5/5)



恒例の少年野球大会 選手宣誓(8/3~5)

正月5日、日本海テレビ番組で、「明日のために」と題し、地域社会開発にそして自己研鑽に努力するわれわれJ Cの活動が、30分番組で報道された。

更に、新理事長涌本君の抱負が「新たなる挑戦」と題して語られた。この一年が、その抱負に見合ったものであったか否か、これは歳月をかけなければその回答は出てこないであろう。我々はこういう事を通して、J C への認識と理解が深まると同時に、一層の責任を自覚しなくてはならないでしょう。



少年野球出身者もたくさんいる鳥取西高野球部のメンバーが、甲子園出場を前に同大会にかけつけてくれ、激励会を催す



ソ連青年招へい交歓会(春季) 於リッチランド (3/16)



ソ連青年招へい交歓会(秋季) 於リッチランド (11/20)



市社会福祉大会にて福田社会開発  
委員長が意見発表者として出席(1/30)



山陰ブロックスポーツ大会 於松江(8/19)  
宿敵松江J.Cとの対戦



新入会員研修会 於リッチランド(9/19)



積善学園の子供達と共に(2/25)

今年も種々の事があった。  
楽しい事もあった。苦しいこともあった。  
考えさせられる事も、反省すべき事もたくさんあった。  
こうして一年があつと云う間に過ぎてゆく。  
これを糧として、来年こそはと思いつつ……。  
入るもの、去る者、こうした思い出をきずなどとして、  
いつ迄も手を取り合ってゆきたいものである。



第9回青年の座談会 於リッチランド(2/8)



龍仙閣にて(11/28)



卒業式でこんなうれしそうな顔をしていて良いのかな？  
卒業生の面々

## 第1回津山JCとの経済交流会

近隣JCとの親交強化策の一つとして標記会合が9月18日津山商工会館大ホールにて盛大に開催された。

日本海時代開幕も間近となり、近い将来山陰新幹線、中国縦貫道も貫通するようになることを思う時、鳥取と土地柄も似通った面も多くあり、鳥取と津山がJCという若者同志が手を取り合って、諸々の問題について語り合い、飲みかつ歌い合う事によって、きずなを強め合う事は、何と云っても有意義な事であった。

唯、鳥取JCとして残念であった事は、来賓メンバーと云い、会場と云い、その参加者数と云い、考え得る限り盛大に我々を迎えてくれた地元側に対し、我々の参加メンバーが非常に少なかった事であった。

とは云え、今後も継続して行う事を思う時、新たなるきずなが出来得た事は、何にも勝る収穫ではあった。

このつながりが年と共に深まり、我々JCが、ひいては、我々の地域社会が日本海時代と共に、より豊かに、より向上し、より発展していく事を願いつつ、津山を後にした。



鳥取側来賓高崎副知事の開会の挨拶



第4分科会 セクレタリーとして分科報告をする盛田栄一君

|        | 第1分科会                | 第2分科会                |
|--------|----------------------|----------------------|
| テ　　マ   | 道路交通網の整備について         | これからの観光開発について        |
| 議　　長   | 中沢　洋雄(鳥)             | 野口　照夫(津)             |
| 副　議　長  | 船　　晃(津)              | 水田　国文(鳥)             |
| セクレタリー | 山本　雅明(鳥)             | 三谷桂太郎(津)             |
| 意見発表者  | 清水　昭允(鳥)<br>神崎　穆璋(津) | 牧野　浩一(津)<br>小谷　信行(鳥) |



第1分科会



第2分科会



第3分科会



第4分科会

|        | 第3分科会                | 第4分科会                |
|--------|----------------------|----------------------|
| テ　　マ   | 商工業の流通について           | 教育・文化・芸能の交流について      |
| 議　　長   | 福田　兼輔(津)             | 本田　　博(鳥)             |
| 副　議　長  | 中山　隆義(鳥)             | 野々上　満(津)             |
| セクレタリー | 荻原　輝実(津)             | 盛田　栄一(鳥)             |
| 意見発表者  | 石原　祐信(津)<br>太田　貞之(鳥) | 岡野　　誉(津)<br>粟島　道和(鳥) |



## 城下町鳥取誕生400年記念

城下町鳥取誕生 400年記念事業の一環として、10月13日、青年の座談会、山陰中央新報社等の協力により、記念祭を行った。本事業は、J Cウイークの行事にも組込まれることとなり、雨天の中にも拘らず、多数の参加者を得て盛大に開催された。

まず、市関係者等の挨拶の後、寄贈された約 2,000匹の錦鯉が、幼稚園児の手で内堀に放流され、続いて、準備された堀端の土穴に、金田市長、涌本理事長等関係者並びに市民の手でサツキの苗木百本が記念植樹された。

好天であればこの行事の圧巻になるべき大名行列は、あいにくの雨の為、大巾に予定が変更され、馬は車道を、人はアーケードの下をと、一風変わった大名行列となったが、それでも山陰中央新報社の協力により借りた見事な衣裳と、専門家の手によるメイクアップとのせいか街道の目を引き、賑やかな行列であった。



カッパをかぶった殿さんでは、できがこないかな



市長さん、ごくろうさま





清水副理事長とお姫さま



全員勢ぞろい



青年団の賛助出演によるぞうり取りの舞い

# 1974年度



理事長  
清水昭允

## 1974年度 鳥取青年会議所役員

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 理事長               | 清水 昭允 |
| 直前理事長             | 涌本 祐之 |
| 副理事長              | 潮 巽市  |
| 〃                 | 浜崎 貢三 |
| 〃                 | 岡垣 彰  |
| 総務委員長             | 水田 国文 |
| 総務副委員長            | 浜崎 勲  |
| 広報委員長             | 中沢 洋雄 |
| 広報副委員長            | 池内 英洋 |
| 都市開発委員長           | 浜崎 正勝 |
| 都市開発副委員長          | 白木 弘美 |
| 経営開発委員長           | 森 修二  |
| 経営開発副委員長          | 尾崎 義人 |
| 社会開発委員長           | 栗嶋 道和 |
| 社会開発副委員長          | 青山 征洋 |
| 青少年開発委員長          | 門脇 篤彦 |
| 青少年開発副委員長         | 河村 皓一 |
| 指導力開発委員長          | 中山 隆義 |
| 指導力開発副委員長         | 加納 衛  |
| 会員開発委員長           | 森 亮輔  |
| 会員開発副委員長          | 田淵 克夫 |
| 15周年記念特別実行<br>委員長 | 足立利喜雄 |
| 監 事               | 角谷 弘海 |
|                   | 秋山 禎堆 |
|                   | 中島 康介 |
| 山陰ブロック出向委員        | 岩本 章嗣 |
| 日本JC出向委員          | 寺谷誠一郎 |
|                   | 盛田 栄一 |

# 平 常 心

1974年理事長 清水昭允

1974年、甲寅の年を迎え、前年からの資源不足による混乱と人心の不安がまだ続きそうです。

この時期にこそJCマンとして、若さ、英知、勇気でもってあわてずにしっかりした情報の収集と、知識を豊富にして分析し判断して行動に移すべきだと思います。会員の中でも、異業種の方が多いので、お互いに情報交換を行ない、多様化する情勢の中で日本の未来をながめ、社会の発展の方向を見出し、先取りして実践していかねばならないと思います。

禅のことばに「本来無一物」があります。生まれた時は何も持っていません。だんだん色々な欲が出て来ます。この時期にもう一度物と心を見直してみるのも一考かと思います。

私達の運動は、繰返しと積み重ね、未知への挑戦と無限の可能性を秘めています。各委員会の事業を地味でもいい実のある活動をし、会員相互の連帯感をはかり、奉仕、修練友情の三信条を心にきざみ一日一日を大切にしていきたいと思っています。

鳥取JCも15周年を迎えます。これからの20年に向っての挑戦が始まるわけです。未来に夢を持ち、一步一步現実に近づく様努力していき、明るい街作りに協力出来たらと思います。山陰ブロックの最後の年で、来年からは鳥取・島根ブロックになります。会員大会が意義ある大会になります様、会員・OB会員・ご家族の方のご協力を、心よりお願い申し上げます。私も日々立場の重大さを痛感しています。失敗したり恥をかいたり、色んな場面に遭遇すると思います。絶えず振り返り、反省してJCのために、又、自分のために精一杯やりたいと思いますのでよろしくお願い致します。



新年祝賀会開催される 於レストランデュージュ (1/11)



14名の新入会員諸君を迎えて新入会員研修会 於リッチランド (2/14)



報道関係者との打合せ会  
於レストランデュヌ (1/21)



於リッチランド(2/8)  
第2例会



商工会議所役員との打合せ(2/8)





積善学園でひな祭り 3月3日



## 鳥取青年会議所 15周年記念事業

### 我々の町に 水と緑を とりもどそう

#### 1. 市民運動の一環として 鯉一万匹放流

場所＝袋川若桜橋、智頭橋間  
日時＝5月25日午後2時

#### 2. グリーン、キャンペーンの一環として さつき125本 記念植樹

場所＝袋川右岸若桜橋  
智頭橋間  
日時＝5月25日

#### 3. 鳥取市勤労青少年 センター体育館 体育器具一式寄贈

## 鳥取青年会議所15周年記念事業について

今年青年会議所は創立15周年を迎える、この間OB会員が、諸先輩が「明るい豊かな社会」の建設にさまざまな運動を進めておいでになりました。

この原稿を書きながら、ふと感じることは、15年前の鳥取と現在とどちらが明るい豊かなコミュニティーであるかということです。

青年会議所発足当時の鳥取よりも物質的な点では現在の方が、暮らしに便利な、富める社会を我々は手に入れたと思います。しかし自然破壊、公害等の我々をとりまく環境はずっと住みにくいものとなって居ます。そして最も重要な点は、将来の15年さきの、つまりJC30周年を迎える時、我々が、小中学校時代の想い出を彩った、袋川に釣り糸をたれたり、又とび廻って胸いっぱい緑の風を吸ったあの自然が、今くいとめなければ完全に破壊されてしまうという現実です。

都会地と比較して鳥取という地域社会には公害のない街というように宣伝されており我々もそれを確信しておりました。しかし都市造りという意味でこの地域社会を観察してみると、そこには砂丘に来る観光客がただ通り過ぎるだけの街、魅力のない街といえます。特に市民のニーズが何か？数年前のアンケート調査の結果から魅力ある街造りということに我々の運動を展開して行くことが一番必要ではないかという結論に達したのです。

そういう意味から「鳥取に水と緑を」というキッチフレーズのもとに袋川美化運動の一環として、鯉の放流と記念植樹が15周年の記念事業となったわけです。

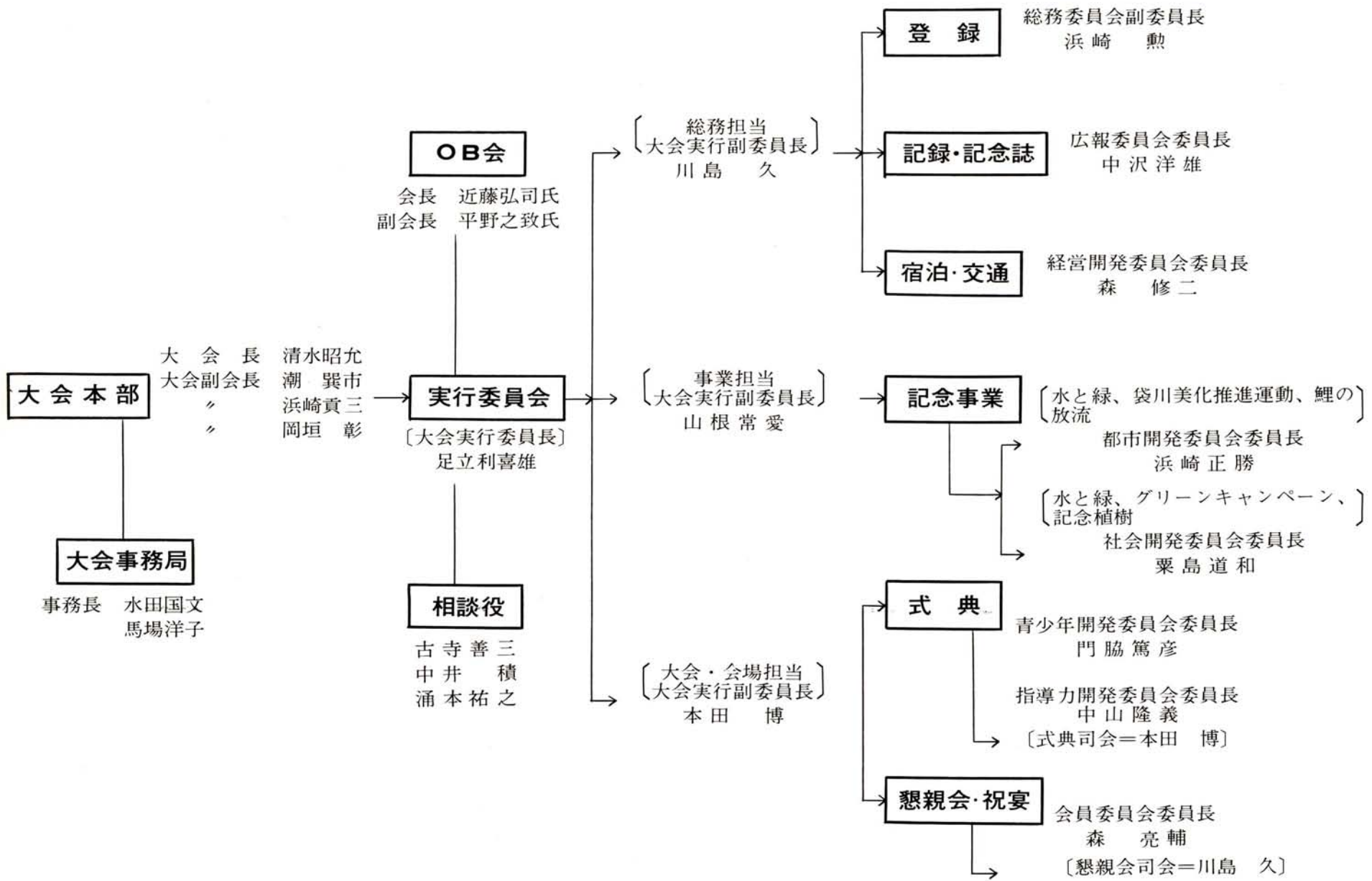
ご承知の通り昔の袋川はその豊かな清流にアユが上り大火前には、桜の名所として市民の憩いの場所として親しまれて来ましたが、昨今の袋川は、家庭の汚水、工場排

水が流れ込みさながらドブ川となってしまっております。これを浄化させる為のシンボルとして鯉の放流と、市民に憩いの場所を復活させる為の袋川の土手にサツキを植えようとしています。

もし鯉が全滅してしまったり、汚い袋川から逃げ出してしまったならば記念事業がそれこそ水泡と帰するのではないかと危惧したメンバーもおります。しかし、清流に鯉を放流するという危険のない行為は、あまりにも単純すぎると思います。我々青年会議所がやるべき仕事は少々残酷な言い方であるがたとえ何匹かの鯉が死んでも（水質検査等は、鯉の生育に適合するという研究は充分なしておいて取り組んだのであるが…）それに参加した市民の川をきれいにしようという意識の向上と、行政サイドの護岸工事、下水道工事、公害企業のたれ流しへの圧力、等々、あらゆる施策のスピードアップに貢献出来れば我々の運動の成果も半分は達成されたと思います。

そのことは過去、青年会議所メンバーと市長を乗せたボートが袋川の実体調査をやり、もう汚濁はたくさんだと行政への効果的な訴えになった事実であり、そして、清流になった後、鯉の放流を行うのではなく、鯉の放流によって清流をとりもどすというこの運動が市民に理解され、我々青年会議所運動の「奉仕と開発」と云う理念が実を結ぶものとして、従来市民からみられていた「二代目ポンチの集り…」etcの揶揄もなくなる事に通じると存じます。豊かな明るい社会建設の中で初歩的段階の環境美化、自然開発公害等、の問題から一歩進み、これから20周年に向って青年会議所運動は、どの団体も手をつけ得なかった問り広汎な問題に取り組んでいくことになるでしょう。

鳥取青年会議所創立15周年記念式典組織図 1974 5/25





## 鳥取青年会議所OB会員名簿 (アイウエオ順)

| 氏名    | 勤務先         | 住所       | 電話      | 氏名    | 勤務先           | 住所       | 電話      |
|-------|-------------|----------|---------|-------|---------------|----------|---------|
| 安部 誠吉 | 鳥取ササ電気(株)   | 鳥取市上町    | 22-2580 | 中尾 喬一 | 鳥取大学教育学部      | 鳥取市湖山町   | 28-0326 |
| 池内 勝信 | (株)池内綿糸店    | 鳥取市元大工町  | 22-4188 | 梨原 巖  | 読売新聞鳥取支社      | 鳥取市行徳    | 23-1831 |
| 石黒 松雄 | 鳥取造船工業(株)   | 鳥取市賀露町   | 23-2671 | 西尾昌之助 | (株)洋服センターニシオ  | 鳥取市戎町    | 22-3136 |
| 石本 博美 | 中央印刷(株)     | 鳥取市岩倉    | 23-1811 | 橋本 博夫 | (株)橋本呉服店      | 鳥取市職人町   | 22-4286 |
| 小田 信夫 | 小田小児科医院     | 鳥取市西町    | 23-3168 | 浜崎 芳宏 | (株)浜崎芳雄商店     | 鳥取市川端    | 23-2011 |
| 金田 文夫 | 鳥取東部自動車学校   | 鳥取市松並町   | 22-7207 | 浜崎 泰三 | 〃             | 鳥取市川端    | 23-2011 |
| 梶田 真輔 | 鳥取信用金庫      | 鳥取市栄町    | 23-2411 | 平野 之致 | (株)ケンパン       | 鳥取市今町    | 23-1081 |
| 亀井 康孝 | (株)亀井堂      | 鳥取市徳尾    | 22-7293 | 福島 規行 | (有)よしのや       | 鳥取市本通り   | 22-4095 |
| 梶 勤   | (有)スズヤ      | 鳥取市川端    | 22-3291 | 福田 義信 | 福田義信司法書士      | 鳥取市東町    | 22-2616 |
| 鎌田悟一郎 | 鳥取生コン(株)    | 鳥取市古海    | 22-8474 | 松浦 寛  | 鳥取家具工業(株)     | 鳥取市富安    | 23-2461 |
| 河田 博志 | (株)河田酒造場    | 八頭郡河原町   | 5-0653  | 松下 弘  | 中央印刷(株)       | 鳥取市岩倉    | 23-1811 |
| 小島 英二 | (有)小島商店     | 鳥取市戎町    | 22-2849 | 三谷 守  | 鳥取グランドホテル     | 鳥取市吉岡温泉町 | 151     |
| 小谷 種夫 | 小銭屋         | 鳥取市吉方温泉町 | 23-3311 | 三宅 金延 | (株)みつかね       | 鳥取市永楽温泉町 | 22-2047 |
| 小谷 信行 | 小谷旅館        | 気高郡気高町   | 2-0531  | 森下 輝雄 | (株)森下久平商店     | 鳥取市戎町    | 22-6186 |
| 近藤 弘司 | 大成電機工業(株)   | 鳥取市今町    | 22-8221 | 森田 一郎 | (株)森田酒造場      | 八頭郡船岡町   | 2-0002  |
| 坂尾 裕正 | 八東林業(有)     | 八頭郡八東町   | 616     | 山家 哲彦 | (有)ヤマガ家具店     | 鳥取市二階町   | 23-4661 |
| 佐野 幸男 | (株)鳥取カラー現像所 | 鳥取市松並町   | 23-4321 | 山根 幸男 | 鳥取マツダ(株)      | 鳥取市今町    | 22-7211 |
| 芝岡 禎一 | (有)芝岡商店     | 鳥取市青葉町   | 23-2361 | 山根 秀治 | 鳥取銀行(株)       | 倉吉市明治町   | 2-3185  |
| 島田 稔  | 山野商事(株)     | 鳥取市商栄町   | 23-5555 | 山村 明  | (株)武田商会       | 鳥取市末広温泉町 | 22-6103 |
| 但井 源一 | (株)扶桑相互銀行   | 鳥取市東品治町  | 22-2131 | 山本 兼由 | 鳥取タイヤ(株)      | 鳥取市今町    | 22-4781 |
| 武田 吉造 | 若桜町役場       | 八頭郡若桜町   | 160     | 山本 富二 | マツヤサンヨー(株)    | 鳥取市上魚町   | 23-5301 |
| 田中 薫  | (株)田中建設     | 鳥取市叶     | 53-1221 | 山本 良二 | 明石家           | 岩美郡岩美町   | 2-1515  |
| 田中 正昭 | 鳥取県森林組合連合会  | 鳥取市湖山町   | 28-0121 | 由谷 圭介 | 由谷商店          | 鳥取市川端    | 22-2916 |
| 谷口 亮  | (株)栄建築設計事務所 | 鳥取市江崎町   | 22-5806 | 米沢 安民 | (株)米沢商店       | 鳥取市茶町    | 22-4338 |
| 玉木 久夫 | 東部自動車学校     | 鳥取市松並町   | 22-7207 | 米原 正博 | 日ノ丸ハイヤー(株)    | 鳥取市永楽温泉町 | 22-7362 |
| 辻 敏治  | (有)辻商店      | 鳥取市新町    | 23-5141 | 小山 一男 | (株)山陰合同銀行鳥取支店 | 鳥取市栄町    | 22-4151 |
| 土家 巖  | 賀茂鶴         | 岡山市中央町   | 24-1522 |       |               |          |         |
| 寺沢 俊雄 | (株)山陰合同銀行   | 松江市白濁本町  | 24-7111 |       |               |          |         |
| 中川 清路 | 中川酒造(有)     | 鳥取市立川    | 22-4168 |       |               |          |         |

# 鳥取青年会議所会員名簿

(1974年4月20日現在) 委員会別

- ① 氏 名
- ② 生 年 月 日
- ③ 自 宅 TEL
- ④ 夫 人 名
- ⑤ 役 職



清水 昭 允

- ② 昭和12年1月9日
- ③ 鳥取市今町1丁目173  
TEL 23-0394
- ④ 是子
- ⑤ 代表取締役

鉄 鋼 材 商

(有) 清 水 商 店

鳥取市古海工業団地  
TEL 23-1631(代)



岡 垣 彰

- ② 昭和14年10月21日
- ③ 鳥取市丸山町75  
TEL 24-2338
- ④ 敦子
- ⑤ 専務取締役

日産サニー鳥取販売株式会社

鳥取市松並町3丁目204  
TEL 23-3251



潮 巽 一

- ② 昭和11年12月30日
- ③ 鳥取市二階町1丁目218  
TEL 24-2235
- ④ 惟子
- ⑤ 社長

インテルナ **ウシオ**  
貸 衣 裳 **ウシオ**  
高 速 洗 車 **ウシオ**

(株) **ウシオ**

鳥取市二階町1丁目218  
TEL 23-1301(代)



水 田 国 文

- ② 昭和16年11月14日
- ③ 鳥取市戎町514  
TEL 22-2230
- ④ 幸子
- ⑤ 代表取締役

服地のみずた



鳥取市戎町514  
TEL 22-2238



濱 崎 貢 三

- ② 昭和14年1月17日
- ③ 鳥取市賀露町7区1703  
TEL 28-1531
- ④ 厚子
- ⑤ 取締役営業本部長

鉄鋼及び建設資材販売

株式会社 濱崎芳雄商店

鳥取市川端4丁目202  
TEL 23-2011(代)



濱 崎 勲

- ② 昭和18年10月16日
- ③ 鳥取市戎町475  
TEL 23-7513
- ④ 敬子
- ⑤ 取締役

電気機器小売

株式会社 富士音響

鳥取市戎町417  
TEL 23-7511(代)



竹田 達夫

- ② 昭和12年10月2日
- ③ 鳥取市本町2丁目109  
TEL 23-4755
- ④ 永子
- ⑤ 竹田内科医院院長

### 竹田内科医院

本町2丁目109  
TEL 22-4320



涌本 祐之

- ② 昭和11年6月26日生
- ③ 鳥取市吉方温泉1丁目252  
TEL 22-4426
- ④ 美弥子
- ⑤ 専務取締役

通運業・一般路線運送業  
一般区域自動車運送業・  
倉庫業

### 因伯通運株式会社

鳥取市行徳は205  
TEL 22-3101



前川 清治

- ② 昭和9年6月4日
- ③ 鳥取市吉成813の21  
TEL 53-2561
- ④ 美子
- ⑤ 常務取締役

世界の紳士服 **F-ONE**

### 鳥取 エフワン (株)

鳥取市吉成235  
TEL 22-7221



松本 啓介

- ② 昭和25年2月8日
- ③ 八頭郡郡家町大字郡家75  
TEL 2-0065
- ④
- ⑤

### 松本司法書士事務所

八頭郡郡家町大字郡家75  
TEL 郡家2-0065



松岡 正樹

- ② 昭和23年3月21日
- ③ 鳥取市元町270  
TEL 24-2321
- ④ 千津香
- ⑤ 専務取締役

洋服とゴルフのひつじや

### (株) ひつじや

鳥取市元町270  
TEL 24-2321



中澤 洋雄

- ② 昭和16年12月8日
- ③ 鳥取市西町3丁目210  
TEL 22-4052
- ④ 雅子
- ⑤ 専務取締役

総合木材問屋

### 株式会社 中澤商店

鳥取市吉成叶833の3  
TEL 53-2091(代)



池内英洋

- ② 昭和18年3月18日
- ③ 鳥取市本町3-220  
TEL 22-3258
- ④ 孝枝
- ⑤ 専務取締役

明日への活動と  
健康を！

## サウナ高砂

鳥取市吉方温泉2-509  
TEL 22-7620



田中英教

- ② 昭和15年7月18日
- ③ 鳥取市南町605  
TEL 22-5786
- ④ 公子
- ⑤ 副住職

高野山真言宗

## 宝珠院

鳥取市南町605  
TEL 22-5786



木村武生

- ② 昭和17年8月1日
- ③ 湯所町2丁目423  
TEL 24-2113
- ④ 孝枝
- ⑤ 代表取締役

石油・建材・商事



幸町1番地  
TEL 22-2146



谷本光正

- ② 昭和14年2月28日
- ③ 末広温泉町274  
TEL 24-6781(代)
- ④ 弘子
- ⑤ 専務取締役

ワインと  
キャンディーの店

## (株)谷本酒店

鳥取市末広温泉町274  
TEL 24-6781(代)



竹川豊彦

- ② 昭和12年1月1日
- ③ 八頭郡智頭町大字智頭51-1  
TEL 智頭5-0496
- ④ 和子
- ⑤ 支店長席付

みんなの貯蓄で  地元の繁栄

明るい窓口 あなたの

## ごうぎん

鳥取市栄町502  
TEL 22-4151(代)



宮本博介

- ② 昭和9年10月18日
- ③ 鳥取市若桜町36  
TEL 23-7171
- ④ 紀子
- ⑤ 代表取締役

カメラの専門店

## 有限会社 佃写真機店

鳥取市若桜町36  
TEL 23-7171



山本 雅明

- ② 昭和17年12月22日
- ③ 鳥取市瓦町371  
TEL 22-4822
- ④ 啓子
- ⑤

国産・舶来 ガスライター  
高級万年筆 マドロスパイプ  
技術と信用を誇る・ペンドックシステムの店

## 万年筆博士

鳥取市栄町604-2  
TEL 22-3630



奥田 東一郎

- ② 昭和17年1月18日
- ③ 鳥取市猪子168  
TEL 53-0690
- ④ 照子
- ⑤ 営業部係長

## 日本海テレビ放送

鳥取市本町3の102  
TEL 22-5171(代)



圓城寺 正樹

- ② 昭和24年7月18日
- ③ 鳥取市安長15  
TEL 22-4688
- ④ 幸江
- ⑤ 販売部長

総合 木材業  
建設業

## 三光工業(株)

鳥取市安長410  
TEL 23-0311(代)



浜崎 正勝

- ② 昭和17年2月15日
- ③ 鳥取市若桜町10  
TEL 22-5445
- ④ 順子
- ⑤ 専務取締役

酒類問屋

## 浜崎酒販(株)

鳥取市若桜町10  
TEL 22-6506



米山 徹幸

- ② 昭和23年7月1日
- ③ 鳥取市吉方温泉4丁目771  
TEL 22-3527
- ④
- ⑤ 代表取締役

一般建築・仮設材・新建材

## (有)米山製材所

鳥取市吉方温泉4丁目771  
TEL 22-3527



白木 弘美

- ② 昭和12年3月12日
- ③ 鳥取西町3丁目204  
TEL 23-7388
- ④ 悦子
- ⑤ 専務取締役

種苗業

## 白木屋種苗(株)

鳥取市瓦町516  
TEL 22-2772



安東 正

- ② 昭和17年9月17日
- ③ 八頭郡智頭町智頭400  
TEL 5-0010
- ④ 範子
- ⑤

お料理上手な  
奥様へ……

### マルテ醤油

八頭郡智頭町智頭400  
TEL 5-0025



久保田 博之

- ② 昭和13年7月6日
- ③ 鳥取市馬場町13の1
- ④ 紀美代
- ⑤ 支店長代理

ハートの **第一勸業銀行**

### (株) 第一勸業銀行

鳥取支店



岩見 経行

- ② 昭和19年12月10日
- ③ 岩美郡岩美町網代  
TEL 岩美2-8211
- ④ 歌子
- ⑤

水産加工業

### 岩美水産(株)

岩美郡岩美町網代  
TEL 岩美2-8030



本田 博

- ② 昭和13年9月28日
- ③ 鳥取市二階町1丁目203  
TEL 22-4078
- ④ 信子
- ⑤ 代表取締役

塗料販売業

### (有) 木村塗料商会

鳥取市二階町1丁目203  
TEL 22-4078



川島 久

- ② 昭和10年3月27日
- ③ 鳥取市浜坂1647  
TEL 22-8020
- ④ 孝子
- ⑤ 代表者

車のおしゃれショップ・サイフォンコーヒーの店

### オートサロン・シカゴ

青葉町3丁目 TEL23-1250

姉妹店スナック ヤングシカゴ

松並町1丁目(ウシオ高速洗車内) TEL24-4727

### 毎日新聞鳥取西専売所

鳥取市湖山9号線ぞい TEL28-1922



牧浦 繁雄

- ② 昭和14年8月4日
- ③ 鳥取市元大工町3の2  
TEL 23-0591
- ④ 広美
- ⑤ 代表取締役

製鉄・製紙原料商

### 有限会社 牧浦商会

鳥取市元大工町25  
TEL 23-0591



道盛 泰次郎

- ② 昭和13年1月21日
- ③ 鳥取市湯所町2丁目152  
TEL 23-6137
- ④ 睦美
- ⑤ 専務取締役

菓子元卸問屋

**(株)道盛商店**

鳥取市商栄町卸団地  
TEL 22-6169



尾崎 義人

- ② 昭和20年1月2日
- ③ 鳥取市湯所町1丁目726の3  
TEL 22-4572
- ④ 満子
- ⑤ 取締役

金属プレス加工

**(有)尾崎プレス工業所**

鳥取市布勢115  
TEL 28-1884



福田 修三

- ② 昭和16年3月28日
- ③ 鳥取市元魚町4丁目101  
TEL 23-6501
- ④ 美栄子
- ⑤ 専務取締役

有限会社  
**インテリアフクタ**

鳥取市元魚町4丁目101  
TEL 23-6501



今井 陸雄

- ② 昭和18年7月22日
- ③ 鳥取市大杣104-26  
TEL 22-4941
- ④ 己恵子
- ⑤ 取締役営業部長

**大山証券株式会社**

鳥取市吉方温泉3丁目101  
TEL 23-2811



森 修二

- ② 昭和11年8月14日
- ③ 鳥取市浜坂1560  
TEL 23-0727
- ④ 典子
- ⑤ 代表取締役

給排水・冷暖房  
給湯工事設計旋工

**(有)森水道設備工業**

鳥取市松並町2丁目278-5  
TEL 23-7361



岩田 純一

- ② 昭和10年10月28日
- ③ 鳥取市寺町71  
TEL 23-1175
- ④ 静枝
- ⑤ 支店長

銀行業

**鳥取信用金庫**

兵庫県美方郡浜坂町  
TEL 2-1721(代)





小林 英明

- ② 昭和9年5月30日
- ③ 鳥取市浜坂1513の13番地  
TEL 23-8687
- ④ 恵子
- ⑤ 取締役

(株)日立製作所  
鳥取県特約店

### 鳥取電業株式会社

鳥取市商栄町251-10番地  
TEL 22-4131(代)



安田 義春

- ② 昭和18年3月5日
- ③ 鳥取市片原3-44 北尾ビル1F  
TEL 22-4324
- ④
- ⑤ 代表者

あなたと私、君の土地、建物、  
マイホームを引受ける安田開発

### 安田 開発

鳥取市松並町2丁目  
山本工業(株)内  
TEL 23-6011



鳥越 達章

- ② 昭和15年10月3日
- ③ 鳥取市元町102番地  
TEL 22-2108
- ③ 淳子
- ⑤ 副調査役

鳥取県唯一の  
地元銀行

株式  
会社



### 鳥取銀行

鳥取市弥生町323番地  
TEL 22-8181



山名利和

- ② 昭和10年12月16日
- ③ 鳥取市行徳は414  
TEL 22-3213
- ④ 高子
- ⑤ 専務取締役

ゴム 履物卸売業  
皮革

### (有)山名商店

鳥取市商栄町251-7  
TEL 23-2664(代)



水野 一水

- ② 昭和18年8月12日
- ③ 鳥取市吉方町2丁目451  
TEL 24-3297
- ④ 靖子
- ⑤ 営業部長

### 水野商事KK

鳥取市吉方町2丁目 451  
TEL 22-8455



山根 常愛

- ② 昭和11年4月15日
- ③ 気高郡青谷町大字大坪  
TEL 青谷5-0736
- ④ いすゞ
- ⑤ 専務取締役

清酒製造

### (有)山根酒造場

気高郡青谷町大字大坪  
TEL 青谷5-0730



中 杉 博

- ② 昭和24年11月22日
- ③ 鳥取市元町135  
TEL 23-3222
- ④ 満寿子
- ⑤ 販売部長

木 材 販 売 業

(有) 中 杉 材 木 店

鳥 取 市 元 町 1 3 5  
TEL 23-3221(代)



秋 山 禎 堆

- ② 昭和9年3月5日
- ③ 鳥取市末広温泉町716  
TEL 23-2917
- ④ 倫子
- ⑤ 人事部次長

(株) 扶 桑 相 互 銀 行

鳥 取 市 栄 町 4 0 3  
TEL 22-2131



粟 嶋 道 和

- ② 昭和12年3月3日
- ③ 鳥取市栄町232  
TEL 22-3882
- ④ 紀子
- ⑤

紳 士 服  
注 文 ・ 仕 立 販 売

粟 島 洋 服 店

鳥 取 市 商 栄 町 2 3 2  
TEL 22-3882



角 谷 弘 海

- ② 昭和15年2月21日
- ③ 鳥取市二階町1丁目113  
TEL 22-4618
- ④ みゆき
- ⑤ 代表取締役

カドヤ証券株式会社

本店 鳥取市二階町1丁目113  
TEL 0857(代)22-2278  
営業所 兵庫県城崎郡城崎町  
湯島96(全但ビル3階)  
TEL 079632(代)2831



青 山 征 洋

- ② 昭和17年1月1日
- ③ 鳥取市立川町5丁目158-2  
TEL 22-3972
- ④ 洋子
- ⑤ 代表者

め ん 類 製 造 販 売

青 山 製 麵

鳥 取 市 立 川 町 5 丁 目 158-2  
TEL 22-3972



河 本 義 雄

- ② 昭和12年3月17日
- ③ 鳥取市吉成498  
TEL 24-2574
- ④ 規子
- ⑤ 事業部長

日 本 海 新 聞 社

鳥 取 市 扇 町 2 2  
TEL 23-4321(代)



龍田 彰 則

- ② 昭和12年 2月 5日
- ③ 鳥取市大覚寺15の3  
TEL 23-7298
- ④ 美智子
- ⑤ 鳥取支社 次長

## 山陰放送

鳥取市若桜橋  
TEL 23-5581



平 吾 武 士

- ② 昭和12年 8月 4日
- ③ 鳥取市末広温泉町115  
TEL 23-4611(代)
- ④ 恵美子
- ⑤ 代表取締役

喫茶・レストラン

## 小 鹿 有限会社

鳥取市末広温泉町115  
TEL 23-4611(代)



中 井 積

- ② 昭和 9年 2月23日
- ③ 鳥取市上町75  
TEL 22-6691
- ④ 啓子
- ⑤ 代表取締役

時 計・宝石商

## (株) ナカイセキ

鳥取市末広温泉町163  
TEL 22-4090



藤 井 正 人

- ② 昭和13年10月30日
- ③ 鳥取市浜坂  
TEL 27-0930
- ④ 淳子
- ⑤ 代表取締役

給排水衛生設備  
設 計 施 工

## 有限会社 和 光 設 備

鳥取市元魚町16  
TEL 23-4561~2



中 島 康 介

- ② 昭和15年 9月23日
- ③ 鳥取市末広温泉町454番地  
TEL 22-2281
- ④ 八重子
- ⑤ 専務取締役

旅 館 業

## 有限会社 一 乃 湯

鳥取市末広温泉町501  
TEL 22-2281(代)



角 田 正 昭

- ② 昭和17年 3月 4日
- ③ 鳥取市新町111  
TEL 22-2506
- ④ 恵美子
- ⑤

呉 服・寝具商

## 有限会社 い さ み や

鳥取市新町111  
TEL 22-2506



仁保 統博

- ② 昭和16年5月25日
- ③ 鳥取市卯垣183-1  
TEL 24-1571
- ④ 僚子
- ⑤ 代表取締役

電気工事材料及  
工具製造販売

サンライズ工業株式会社

岩美郡国府町大字 117-1  
TEL 23-2731



大呂 隆則

- ② 昭和20年8月25日
- ③ 八頭郡智頭町大呂  
TEL 智頭5-0074
- ④
- ⑤

林業経営

八頭郡智頭町大呂  
TEL 智頭5-0074



角 脇 篤 彦

- ② 昭和12年4月23日
- ③ 鳥取市立川町5丁目66の9  
TEL 23-5214
- ④ 敦子
- ⑤ 支社長

毎日新聞社直屬  
総合広告代理店

(株)北陽毎日広告社

鳥取市西町2丁目415  
毎日新聞2F  
TEL 23-7211



河村 皓 一

- ② 昭和20年10月8日
- ③ 鳥取市青葉町2丁目154  
TEL 22-4017
- ④
- ⑤ 代表取締役

スーパーマーケット  
(株)かわむら

鳥取市青葉町2丁目108  
TEL 23-3503



足立 憲 昭

- ② 昭和21年10月12日
- ③ 鳥取市吉岡温泉町753  
TEL 57-0221
- ④ 美重子
- ⑤ 専務取締役

旅館業

(有)新生館

鳥取市吉岡温泉町753  
TEL 57-0221



熊田 省 吾

- ② 昭和11年12月24日
- ③ 鳥取市元魚町3丁目221  
TEL 22-4222
- ④ 熙代
- ⑤ 専務取締役

家庭日用品卸

株式会社 熊田商店

鳥取市商栄町251-8  
TEL 23-3381(代)



古寺善三

- ② 昭和9年11月3日
- ③ 鳥取市元大工町13  
TEL 22-6283
- ④ 美江子
- ⑤ 代表取締役

全酒類卸売業  
アサヒビール特約店

株式会社 古寺商店

鳥取市青葉町  
TEL 22-4111



福田洋一郎

- ② 昭和17年6月3日
- ③ 鳥取市元魚町2丁目213
- ④ 友美
- ⑤

酒類販売業

福田商店

鳥取市元魚町2丁目 213



建部徹

- ② 昭和15年12月12日
- ③ 鳥取市川端1丁目111  
TEL 23-3639
- ④ 薫子
- ⑤ 専務

室内装飾

(有) 建部

本店 川端1丁目  
工場 湖山町三島田 919  
TEL 店代表23-2741  
工場 28-0811



山田富士雄

- ② 昭和19年6月5日
- ③ 鳥取市倭文401  
TEL 53-1402
- ④ 好江
- ⑤ 専務取締役

ハイヤー  
タクシー

大森タクシー(株)

鳥取市幸町82  
TEL 23-6511・22-8575



姫村光則

- ② 昭和25年12月2日
- ③ 鳥取市大工町頭29  
TEL 22-2675
- ④
- ⑤

電化製品  
販売・修理

(有) 姫村電器商会

鳥取市大工町頭29  
TEL 22-2675



山本洋

- ② 昭和21年8月25日
- ③ 岩美郡国府町宮下454  
TEL 24-6256
- ④ 絃子
- ⑤ 専務取締役

建設業

(有) 山本建築工業

岩美郡国府町奥谷  
TEL 23-3656(代)



武坂喜巳

- ② 昭和16年1月25日
- ③ 鳥取市良田60の10  
TEL 57-0630
- ④ 陽子
- ⑤ 取締役支配人

喫茶  
旅情

(有) 西山商店

鳥取市栄町710  
TEL 24-3855



渡辺博

- ② 昭和22年7月2日
- ③ 鳥取市戎町422  
TEL 22-8315
- ④ 光子
- ⑤ 取締役

呉服

(株)サービス呉服店

鳥取市戎町422  
TEL 22-8315(代)



林繁之

- ② 昭和18年5月20日
- ③ 鳥取市川端5ノ207  
TEL 24-2529
- ④ 真智子
- ⑤ 代表取締役

洋品店

(有) ヴァンメイツ

鳥取市末広温泉町  
TEL 23-3899



中山隆義

- ② 昭和12年3月21日
- ③ 鳥取市吉方温泉2丁目511  
TEL 22-2355
- ④ 啓子
- ⑤ 専務取締役

菓子製造

京屋菓舗

鳥取市吉方温泉2丁目  
TEL 22-2355



松本順一

- ② 昭和13年3月10日
- ③ 鳥取市大覚寺77-16  
TEL 24-9660
- ④ 悦子
- ⑤ 営業課長

綜合事務機器  
教育機器  
事務用品

(株)愛進堂

鳥取市元魚町2丁目107番地  
TEL 22-8251



加納衛

- ② 昭和19年2月23日
- ③ 鳥取市二階町2丁目216  
TEL 23-5611
- ④
- ⑤ 専務取締役

家具小売業

有限会社加納

鳥取市二階町2丁目216  
TEL 23-5611



石飛正弘

- ② 昭和14年11月10日
- ③ 鳥取市立川町5丁目110-15
- ④ 和枝
- ⑤ 支店長代理



(株) 松江相互銀行

鳥取市戎町  
TEL 22-3118



縫谷昌生

- ② 昭和19年6月26日
- ③ 鳥取市浜坂1607  
TEL 22-6487
- ④ 洋子
- ⑤ 取締役営業部長

石油類販売

鳥取米油(株)

鳥取市吉方温泉3-106  
TEL 23-2291(代)



寺谷誠一郎

- ② 昭和18年12月4日
- ③ 八頭郡智頭町芦津  
TEL 5-0582
- ④ 施都子
- ⑤ 代表者

山菜料理

みたき園

八頭郡智頭町芦津  
TEL 5-0582



宮川敬学

- ② 昭和16年3月15日
- ③ 鳥取市湯所町1-709  
TEL 22-4798
- ④ 一二三
- ⑤ 住職(禪林々長・師家)

宗教法人

曹洞宗 天徳寺

併設 本山公認 参禅道場 天徳禅林  
鳥取市湯所町1-709  
TEL 22-4798



中田吉人

- ② 昭和11年3月25日
- ③ 気高郡気高町勝見676  
TEL 08578-2-0958
- ④ 尚子
- ⑤ 代表者

中田製材所  
中田建築事務所

気高郡気高町勝見676  
TEL 08578 2-0958



盛田栄一

- ② 昭和12年6月15日
- ③ 鳥取市馬場町27-3  
TEL 22-6303
- ④ 玉恵
- ⑤ 専務取締役

トータルインテリアから  
コンピューターまで

株式会社  
盛田新生堂

鳥取市商栄町203-6  
TEL 23-3641



澤田 祥一郎

- ② 昭和23年1月25日
- ③ 鳥取市栗谷町63-4  
TEL 22-8669
- ④ 友子
- ⑤

住友金属(株)特約店  
久保田鉄工(株)代理店  
ミウラ化学装置(株)代理店

**(株) 澤田 商 会**

鳥取市叶字上井原 138-5  
TEL 53-1121(代)



田 洩 克 夫

- ② 昭和19年3月3日
- ③ 鳥取市立川町5丁目165  
TEL 22-7452
- ④ 千鶴子
- ⑤ 専務

御会合・御宴会  
各種披露宴に

**(株)オリエント会館**

鳥取市栄町626  
TEL 23-2101



圓城寺 輝 明

- ② 昭和22年4月19日
- ③ 鳥取市安長外河原797  
TEL 23-5014
- ④ 礼子
- ⑤ 建築主任

総合 木材業  
建設業

**三光工業株式会社**

鳥取市安長410  
TEL 23-0311(代)



足 立 利喜雄

- ② 昭和11年10月19日
- ③ 鳥取市吉方温泉1丁目132  
TEL 24-8545
- ④ 礼子
- ⑤ 代表取締役

寝具専門店

**(有) 足立ふとん店**

鳥取市吉方温泉1丁目132  
TEL 24-8545(代)



森 亮 輔

- ② 昭和10年1月21日
- ③ 鳥取市寿町502  
TEL 22-5794
- ④ 千鶴
- ⑤ 森歯科医院々長

**森 歯 科 医 院**

鳥取市寿町502  
TEL 22-5794



石 河 公 直

- ② 昭和19年3月11日
- ③ 岩美郡岩美町岩本441  
TEL 岩美2-8131
- ④ 和子
- ⑤

**N K T 興 産 (株)**

鳥取市田園町4丁目 360  
TEL 23-6551





岩 本 章 嗣

- ② 昭和16年2月12日
- ③ 鳥取市川端4丁目121  
TEL 23-5501(代)
- ④ 和子
- ⑤ 代表取締役

選ばれたあなたに—  
 選びぬかれた **メナード** 化粧品

**栄メナード株式会社**

鳥取市川端4丁目121  
 TEL 23-5501(代)



松 原 實

- ② 昭和22年3月2日
- ③ 気高郡気高町勝見  
TEL 浜村2-0507
- ④ 枝美子
- ⑤ 常務取締役

**(有) 松 原 建 設**

気高郡気高町勝見  
 TEL 浜村2-0507



高 岡 武 弘

- ② 昭和14年9月23日
- ③ 鳥取市本町5丁目218  
TEL 23-9230
- ④ 洋子
- ⑤ 取締役

**(株) 鳥取電気工事**

鳥取市片原4丁目110  
 TEL 23-2641



森 田 紘 一 郎

- ② 昭和17年4月9日
- ③ 鳥取市永楽温泉町458  
TEL 23-1311
- ④ 紀代野
- ⑤

温 泉 旅 館

**丸 茂**

鳥取市永楽温泉町458  
 TEL 23-1311



西 本 昇 一

- ② 昭和24年1月11日
- ③ 気高郡青谷町青谷3960  
TEL 08578-5-0917
- ④
- ⑤

**(有) 西本酒造場**

気高郡青谷町青谷3960  
 TEL 08578 5-0917



八 木 重 雄

- ② 昭和22年11月3日
- ③ 鳥取市田園町4丁目252  
TEL 24-4408
- ④
- ⑤

**やぎや菓舗**

鳥取市青葉町2丁目210  
 TEL 22-6503  
 23-5139



小 田 義 之

- ② 昭和22年7月2日
- ③ 鳥取市浜坂1755
  
- ④ 公子
- ⑤ 代表者

## 小 田 金 物 店

鳥取市今町1丁目435  
TEL 22-4065



石 畑 典 明

- ② 昭和21年1月18日
- ③ 鳥取市高住  
TEL 28-2800
- ④ 知賀子
- ⑤

## 建 設 業

## 富士セメント工業株式会社

鳥取市行徳は354  
TEL 22-8273(代)



中 沢 征 機

- ② 昭和18年9月17日
- ③ 鳥取市岩倉452の22  
TEL 24-2650
- ④ 正子
- ⑤

## 電気器具販売業

## 尾 脇 電 機 (株)

鳥取市職人町35  
TEL 22-8335

## 〔編集後記〕

鳥取青年会議所の10周年から15周年への5年間の足跡を、どの様にたどって行ったらよいのか、記念誌を担当した広報委員会は、基本方針の決定に、苦勞に苦勞を重ねました。

**人間復興を基盤とした4つの重点施策**を打出された玉木理事長。**すべてのJC活動の根性と愛**をの池内理事長。さらに**若者と共に語り創造しよう、和を基調とした全員参加のJC創り**の古寺理事長。**新たなる挑戦**の涌本理事長。そして、禅の「本来無一物」と云う言葉から、**平常心**と打出した本年度清水理事長に至る5年間。我々JCが、どの様にこの鳥取という地域社会に対して市民参加の問題意識を提起し続けて来たか。

とかく写真掲載は、アルバム式の感が強くなる為、この弊害を文章構成で補促すると云う事で発刊にこぎつけましたが、紙面予算等の制約の点で、十分に記載出来なかった年度があり、その意図を尽し得なかった事をお詫び申し上げます。

「心身障害児に愛の心を」とあゆみの箱によるチャリティショウの募金活動に始まった池内理事長の年。さらに砂丘に水と緑をと云う県民参加の砂丘子供の国の「希望の泉」完成募金のスタート。市民と市長のつどい、又、青年のメンバーとの交流と云った古寺理事長。希望の泉の完成式、鳥取市400年祭参加の涌本理事長の年度。それぞれの年度ごとに、市民の方々にどの様にして問題提起をして来たか多数の写真の中から拾い出したつもりです。

「明るい豊かな社会を築き上げよう」と云う我々本来の姿は、さらに本年度の各委員会活動の中に、生き続けて

いる。15周年を記念しての記念事業にみられる袋川美化推進と市民参加の放流計画。さらに我々の町に水と緑を取り戻そうのキャッチフレーズの下、記念植樹と休むことなく、我々JC活動は、地域社会に密着した運動が展開されております。こうした過程が、この一冊の記念誌で、幾らかでも感じていただければ幸甚です。

発刊に際して平林県知事をはじめ、金田市長、米原商工会議所会頭と各方面からの祝辞をいただき厚く御礼申し上げます。

尾崎画伯には5周年、10周年読に続いて、今回も装幀を心よくお引受いただきまして誠にありがとうございました。編集・製本にあたって多くの方から御援助・御協力を得ました。なかでも日ノ丸印刷の谷口さんにひとかたならぬお世話になりました。皆様の御批判、御叱正を仰ぎたいと思います。

15周年記念誌発行担当  
広報委員会委員長

中 沢 洋 雄

15周年記念誌発行担当

広報委員会

|      |                    |
|------|--------------------|
| 委員長  | 中 沢 洋 雄            |
| 副委員長 | 池 内 英 洋 (1972年度担当) |
| 委 員  | 谷 本 光 正 (1970年度担当) |
| 委 員  | 円城寺 正 樹 (1970年度担当) |
| 委 員  | 米 山 徹 幸 (1970年度担当) |
| 委 員  | 宮 本 博 介 (1971年度担当) |
| 委 員  | 竹 川 豊 彦 (1971年度担当) |
| 委 員  | 木 村 武 夫 (1972年度担当) |
| 委 員  | 山 本 雅 明 (1973年度担当) |
| 委 員  | 田 中 英 教 (1973年度担当) |
| 委 員  | 奥 田 東一郎 (1974年度担当) |

---

1974年5月25日発行

発行者 鳥取市本町3丁目102  
鳥取青年会議所

編集責任者 中 沢 洋 雄

印 刷 日ノ丸印刷株式会社

---



# 鳥取青年会議所

鳥取市本町3丁目商工会館内